

ひつとスラン 港北

港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画



©横浜市港北区ミズキー

港北区役所・港北区社会福祉協議会

<平成 25 年度版>

目 次

第1章 「ひっとプラン港北」全体計画

| | | |
|---|-------------------------|----|
| 1 | 平成24年度の振り返りと平成25年度の取り組み | 1 |
| 2 | ひろがる | 2 |
| 3 | つながる | 5 |
| 4 | とどく | 8 |
| 5 | 平成25年度 区役所の取り組み | 12 |
| 6 | 平成25年度 区社会福祉協議会の取り組み | 15 |

第2章 13地区計画

- 日吉地区 …… 光と活力に満ちあふれる日吉
～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～
- 綱島地区 …… 元気でふれあうまち 綱島
いつまでも住んでいたい町
- 大曽根地区 …… ハートフル 大曽根
- 樽町地区 …… 思いあいのまち 樽町
- 菊名地区 …… みんなで支えあうまちづくり
- 師岡地区 …… わが町師岡 ー安全・安心・住みよい町づくりー
- 太尾地区 …… 『あいの町太尾』 ーふれあい・支えあい・助けあいー
- 篠原地区 …… 「わがまち篠原」
- 城郷地区 …… たすけあうまち城郷
- 新羽地区 …… 「^わ和・^わ輪・^わ話」のまち につば
平和・福祉の「和」、みんなが手をつなぐ「輪」、
みんなが話し合う「話」
- 新吉田地区 …… いいな！みんなのまち新吉田
- 新吉田あすなろ地区 …… もっと・ホットに「あすなろ」
- 高田地区 …… みんなが笑顔、助け合いのまち高田

「ひっとプラン港北」区全体計画 平成 24 年度の振り返りと平成 25 年度の取り組み

「ひっとプラン港北」は、推進 3 年目を迎えました。区内 13 地区の取組（地区計画）は具体的な事業となって様々な成果をあげています。区役所（以下、区）と区社会福祉協議会（以下、区社協）は、地区計画推進の支援を行うと同時に、「ひろがる」「つながる」「とどく」の 3 つの柱と 6 つの目標に沿って区計画に取り組んできました。

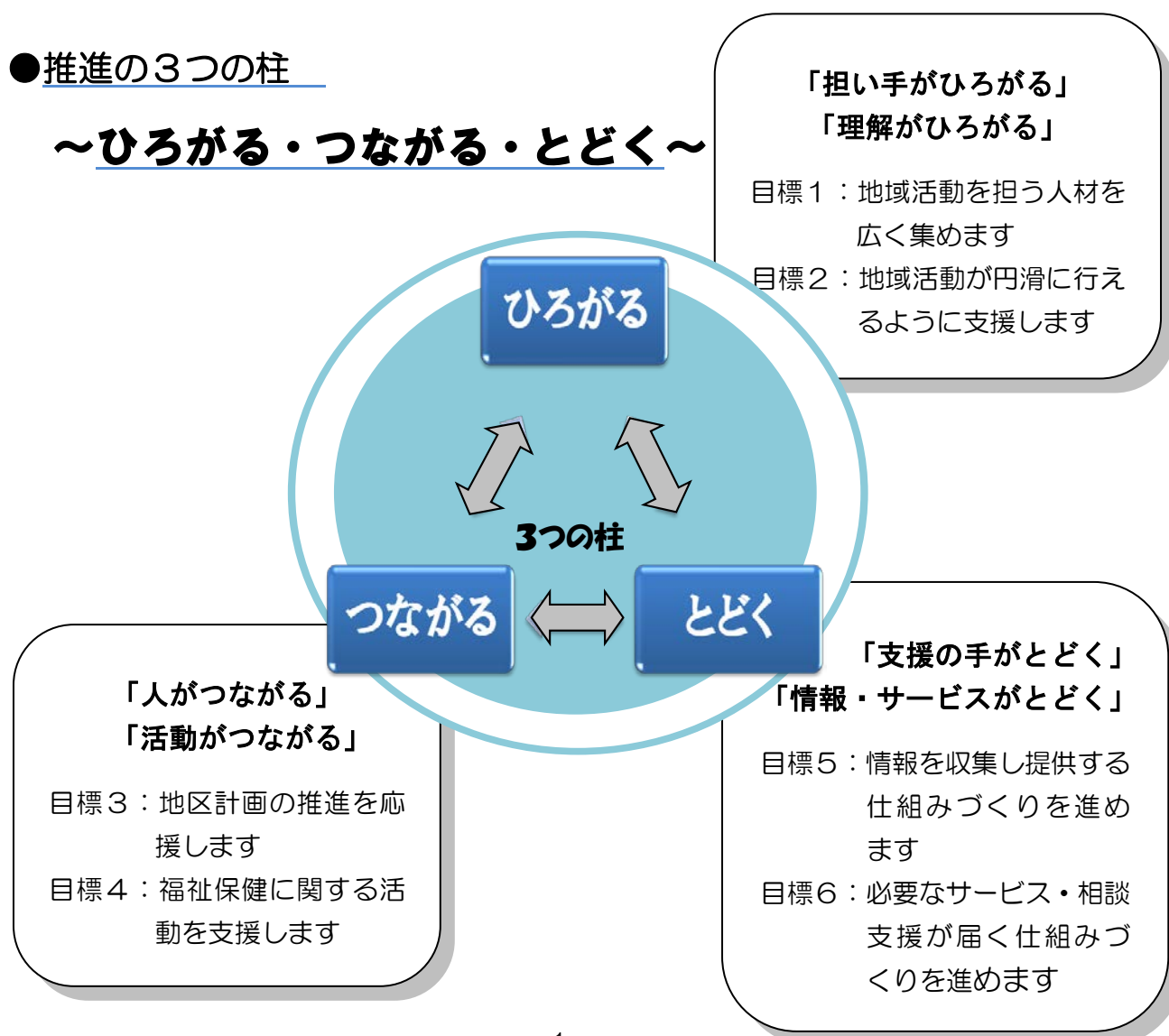
昨年度、区は、行政が所有する個人情報をも民生委員や地域包括支援センターに提供する『ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業』を実施し、行政と地域、関係機関が協働して支援が必要な人を見守る新たな仕組みづくりに着手しました。

また、区社協は、障がい児・者の外出に関する相談をきっかけに、住み慣れた地域で障がい児・者を支える担い手の育成に力を入れて取り組んできました。

地域のつながりが薄れていると言われる現代において、支援が必要な人をどのように支えていくかは重要な課題です。一人ひとりの人権を尊重しながら誰もが生き生きと安心して暮らせるまちをつくるため、区や区社協は、引き続き地域や関係機関、活動団体と連携して取組を進めていきます。

●推進の 3 つの柱

～ひろがる・つながる・とどく～



ひろがる

目標 1：地域活動を担う人材を広く集めます

地域の福祉保健活動を担う新たな人材の育成や交流を行い、担い手の拡充を図ります。

| 平成 24 年度の取り組み目標 | 振り返り |
|---|---|
| <p>●担い手の育成・発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 区民活動支援センターと区ボランティアセンターとが連携して、担い手の育成に取り組みます。 ◆ 地域での福祉保健活動を支えるコーディネーターを育成します。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 障がい児・者の移動に関する相談を通じてニーズの高いことが明らかになった通学支援に対して、地域を会場に『障がい児・者の外出支援セミナー』を開催しました。今後、実際の支援につなげることが課題です。【区社協】 ◆ 区社協ボランティア分科会が発行するボランティア情報誌を区民活動支援センター（区役所）の掲示板に掲示したことで、ボランティア登録につながりました。また、この分科会では人材発掘に関する勉強会も行いました。【区社協】 ◆ 地域活動を行う団体のコーディネートや人材発掘の役割を期待される職員に対して育成研修を行いました。今年度は異業種の施設職員同士が顔馴染みになったことが成果です。今後は連携して地域支援をするきっかけとなることを目指します。【区】 ◆ 各種知識・経験・技能をお持ちの方を地域に紹介する『まちの先生』のPRに努め、登録者数を増やしました。【区】 ◆ 介護予防を推進する研修、中途障害者を支援するボランティア研修、子育てグループ向け研修など、地域の人材を育成・支援する各種研修会を実施しました。【区】 |
| <p>●担い手の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 区全域で活動している個人・団体が、共通の目標をもって協働できる場、機会を増やします。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 在宅福祉に関わるボランティア団体と事業所の連絡会である区社協在宅福祉分科会では、学習会を行い、スキルアップを図りました。【区社協】 ◆ 外出の支援を行う担い手のネットワークづくりを目的とした「在宅ボランティア連絡会」を開催しました。【区社協】 ◆ 『地域のチカラ応援事業』で補助金等を受けている団体の活動発表・交流会を開催しました。大勢の参加があり、団体間の交流が進みました。【区】 ◆ 10月に開催した『港北ほくほくフェスタ』では、事例発表やパネル展示により、地区の取り組みを紹介し、自らの活動を客観的に見る機会を提供しました。【区・区社協】 |

平成25年度の取り組み

●担い手の育成・発掘

- ◆ 様々な機会を通じて担い手の育成に取り組みます。
- ◆ 地域での福祉保健活動を支えるコーディネーターを育成します。

●担い手の交流

- ◆ 地域で活動している個人・団体が、交流することによって課題の共有や協働のきっかけとなるような機会を増やします。

目標2：地域活動が円滑に行えるように支援します

地域での見守り活動等が円滑に行われるような仕組みづくりを支援します。

| 平成24年度の取り組み目標 | 振り返り |
|---|--|
| <p>●地域活動が円滑に進むための環境づくり</p> <p>◆ 個人情報に正しい理解のもとに活用され、地域での見守り活動が円滑に進むよう、関係者間の情報共有に関する考え方を整理します。</p> | <p>◆ 『ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業』を実施し、行政が所有するひとり暮らし高齢者の情報を民生委員と地域包括支援センターに提供しました。対象者約6,200名のうち、同居や元気等のため、訪問不要の連絡をいただいた方を除く約3,200名の方を訪問し、お困りの事や緊急時の連絡先等を伺いました。【区】</p> <p>◆ 災害時に備えて同意を得られた方の個人情報を自治会町内会等に提供する『災害時要援護者支援事業』では新たに4つの自治会町内会に名簿を提供しました。【区】</p> <p>◆ 個人情報保護の原則を守りながら、必要な情報を地域と共有する体制ができつつありますが、地域住民の皆様へより一層、きめ細やかな説明と支援が必要です。【区】</p> |

平成25年度の取り組み

●**地域活動が円滑に進むための環境づくり**

- ◆ 個人情報に正しい理解のもとに活用され、地域での見守り活動が円滑に進むよう、日頃から地域の自主的な支えあいの取り組み等を支援します。

●**福祉保健活動の支援【目標4から変更】**

- ◆ 補助金交付や広報、団体同士の交流の場づくりなどを行うことにより、地域の方々が取り組む活動の活性化と継続への支援を行います。

つながる

目標3：地区計画の推進を応援します

地区ごとの特徴や課題に応じて地域の方々が主体となって進める活動を支援します。

| 平成24年度の取り組み目標 | 振り返り |
|---|---|
| <p>●地区計画推進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 区・区社協・地域ケアプラザの職員から成る地区計画サポートスタッフが、各地区における地域の方々の主体的な取り組みを支援します。 ◆ 地区の活動を地域の方々に広く周知します。また、活動発表や担い手の交流の場をつくることによって、活動の広がりを促します。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地区計画サポートスタッフ（区、区社協、地域ケアプラザの職員で構成）が、地域の取り組みにあわせて支援を行いました。【区・区社協】 ◆ 地区の活動をより多くの方に知ってもらうために今年度も13の地区計画書を全戸配布（一部回覧）するとともに、「広報よこはまで」の紹介やホームページへの掲載を行いました。さらに効果的なPRが必要と思われます。【区・区社協】 ◆ 「ひっとプラン発！ネットワークの力」をテーマにしたフォーラムを行い、約400名が来場しました。地区の取り組みで関心の高い事例紹介と、各地区計画のパネル展示を行いました。他地区の取り組みを知るとともに、活動を客観的に見る機会となりました。 今後は活動者同士が直接交流を図る機会とすることも検討していきます。【再掲】【区・区社協】 |
| <p>●地区課題の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地区計画推進にあたって明らかになった課題を区全域の課題として取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地区計画推進に重要な役割を担っている地区社会福祉協議会の活動事例集を発行しました。【区社協】 ◆ 担い手の育成や災害時要援護者支援など、地区で共通する課題について区全体計画で取り組んできました。【区・区社協】 |

平成25年度の取り組み

●地区計画推進支援

- ◆ 区、区社協、地域ケアプラザ等の職員が連携して地区計画推進を支援します。
- ◆ 活動の広報や担い手の育成、新たな組織との連携支援などによって活動の広がりを促します。

目標 4：福祉保健に関する活動を支援します

地域主体の福祉保健活動に対して経済的な支援や情報提供などを行います。また、地域の方々や団体が交流する場をつくり、ネットワークづくりに関する支援を行います。

| 平成 24 年度の取り組み目標 | 振り返り |
|---|--|
| <p>●福祉保健活動の支援</p> <p>◆ 補助金交付や広報、団体同士の交流の場づくりなどを行うことにより、地域の方々が主体的に取り組む活動の活性化と継続への支援を行います。</p> | <p>◆ 地域が自主的に取り組む活動に対し、区と区社協は補助金を交付し、活動の支援を行いました。 『地域のチカラ応援事業』では、チャレンジコースの2事業をはじめ、福祉保健活動を推進する取り組みに補助金を交付しました。【区】 『港北みんなの助成金』では 291 事業に助成を行いました。単なる補助金交付にとどまらず、団体の活動を支援するためピアリングを実施しました。【区社協】</p> <p>◆ 一人暮らし高齢者や高齢世帯に対して地域が行う取り組みを支援する『地域の見守りネットワーク構築支援事業』のモデル地区として、城郷地区に必要経費を助成しました。地域住民を対象とした講演会や見守り支援者向け研修会を開催しました。【市】</p> <p>◆ 福祉保健サービスの提供を目的とした団体の事業を認定し、区と区社協がPR等の支援を行う『福祉保健活動応援事業』を開始しました。【区・区社協】</p> |
| <p>●地域とつながる 交流の場づくり</p> <p>◆ より身近な地域で交流が活発に行われるために、地域活動の拠点や、地域の様々な世代が交流できる場・機会を増やしていきます。</p> | <p>◆ 区内に4か所（太尾、大曾根、高田、城郷地区）ある区社協『みんなの居場所』は、それぞれが地域にあった活動を行い、利用者が増えています。居場所を維持するための検討が地域で行われるようになり、一部では自主財源確保の取り組みを開始しています。【区社協】</p> <p>◆ 『親と子のつどいの広場』を新たに樽町地区に開設し、区内3か所（日吉、菊名、樽町地区）になりました。地域の親子の交流だけではなく、担い手の育成にもつながっています。【市】</p> <p>◆ 身近な地域で高齢者が人とつながりながら介護予防活動を行う『元気づくりステーション』を、6か所で開始しました。【区】</p> |
| <p>●支援者の ネットワークづくり</p> <p>◆ 支援が必要な人を支える人たちが連携して支援を行えるよう、支援者同士が交流する場をつくり、また、スキルアップを図ります。</p> | <p>◆ 高齢者認知症連絡会、虐待防止連絡会を行い、支援機関が課題共有と対策についての検討を行いました。また、「こうほく高次脳機能障害者支援ネットワーク」に参加し、関係機関が連携して支援する体制づくりを行いました。【区】</p> <p>◆ 区内障がい者グループホーム職員同士の情報共有や相談の機会をつくるため、連絡会を開催しました。【区自立支援協議会】</p> <p>◆ 障がい者の移動支援を行う事業所の連絡会を開催し、約 30 事業所が参加しました。移動支援に関わるノウハウや課題共有、事業所同士の連携につながっています。各事業所の担い手不足が課題です。【区社協】</p> |

平成25年度の取り組み

●誰もが健康で生き生きと暮らせる地域づくり

- ◆ 次世代を担う子どもたちが、地域で見守られながら、健やかに育つよう、子育てを地域全体で支えるしくみを整えていきます。
- ◆ 多くの人に関心を持ち、参加しやすい健康づくりをテーマとした取り組みを、地域の人材と連携しながら実施していきます。

●地域とつながる交流の場づくり

- ◆ より身近な地域で住民同士が活発に活動し、交流するための場や機会を増やしていきます。

●支援者のネットワークづくり

- ◆ 支援が必要な人を支える人たちが連携できるよう、支援者同士の交流や課題共有の場をつくります。また、支援者のスキルアップを図ります。

●福祉保健活動の支援【目標2に変更】

目標5：情報を収集し提供する仕組みづくりを進めます
 支援を必要とする人に対して、より届きやすい情報提供のあり方を検討するとともに、地域活動団体が行う情報発信を支援します。

| 平成 24 年度の取り組み目標 | 振り返り |
|--|---|
| <p>●必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり</p> <p>◆ 高齢者や障がい者、子育て中の世帯などに、正確でわかりやすい情報を提供していくとともに、より「とどきやすい」方法を検討します。</p> | <p>◆ 公共交通機関を使った外出が困難な障がい児・者の方々への相談窓口『おでかけGO！港北』には68件の相談がありました。単なる情報提供にとどまらず、コーディネート機能を向上するため、移動支援を行う事業者との連絡会を開催したり、担い手を増やすための講座を地域で開催したり、活動を拡げました。【区社協】</p> <p>◆ 子育て応援メールマガジン『ココめ〜る』の登録者数は、1月1日現在8,388件（前年同日7,892件）と増えています。【区】</p> <p>◆ 子育て応援マップ『ココマップ』を増刷しました。赤ちゃん訪問を利用し、子育て世帯に届く工夫を行っています。また、専用のホームページを使い、子育て情報や講座のお知らせを発信しています。【区社協】</p> |
| <p>●福祉保健活動に関する情報発信</p> <p>◆ ホームページや広報紙などを通じて地域の福祉保健活動に関する情報を提供し、活動の活性化や担い手の拡充を図ります。</p> | <p>◆ ボランティア募集や地域活動に関する情報をホームページやタウンニュースに掲載の「ふくしのまど」で提供しました。ホームページには職員によるブログを掲載し、こまめな情報発信を行いました。【区社協】</p> <p>◆ 地域情報紙『港北力☆発見通信』を3,500部、年3回（予定）発行し、「ひっとプラン港北」を推進する団体を含む地域活動団体の紹介等を行いました。【区】</p> <p>◆ 福祉保健の活動を含む生涯学習・区民活動支援情報誌『楽・遊・学』（毎月3,000部発行）や、区民活動団体を紹介する「グループ・団体ガイド」を発行しました。【区】</p> |
| <p>●地域からの情報発信に対する支援</p> <p>◆ 技術的支援や仲間づくりなどを通じて、福祉保健活動に関する地域の方々自らの情報発信を支援します。</p> | <p>◆ 地域のホームページ開設について、情報出版サービスを行うNPO法人と地区社協をつなげる支援をしました。【区社協】</p> |

平成25年度の取り組み

●必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり

- ◆ 高齢者や障がい者、子育て中の世帯などに、正確でわかりやすい情報を提供していくとともに、より「とどきやすい」方法を検討します。

●福祉保健活動に関する情報発信

- ◆ ホームページや広報紙などを通じて地域の福祉保健活動に関する情報を提供し、活動の活性化や担い手の拡充を図ります。

●地域からの情報発信に対する支援

- ◆ 技術的支援や仲間づくりなどを通じて、福祉保健活動に関する地域の方々自らの情報発信を支援します。

目標 6：必要なサービス・相談支援が届く仕組みづくりを進めます
 支援が必要な人を支える仕組みづくり等、誰もが安心して暮らせるまちづくりを支援します。

| 平成 24 年度の取り組み目標 | 振り返り |
|--|--|
| <p>●地域で見守る仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日常的な近所づきあいが安全で安心なまちづくりにつながることや、問題の早期発見の必要性を啓発します。あわせて困ったときに気軽に相談ができ、支援につながるよう、相談支援体制の充実を図ります。 ◆ ひとり暮らし高齢者等の支援が必要な人を地域で見守るために、地域と支援機関が情報共有等で連携する仕組みを検討します。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 区役所が所有する 75 歳以上のひとり暮らし高齢者の情報を民生委員と地域包括支援センターに提供し、三者が連携して地域の高齢者を見守る仕組みづくりを始めました。(目標 2 に記載)【区】 ◆ 本人の同意を得た方の個人情報自治会町内会等に提供する『災害時要援護者支援事業』で、過去に名簿提供をした自治会町内会を対象に、名簿の管理方法や活用方法についてアンケート調査を行いました。アンケートからは対象者把握の困難さや発災時の担い手不足などの課題が挙げられました。この結果を受け、地域の取り組みの参考とするため、講師を招いて研修会を開催しました。【区】 ◆ 認知症高齢者の徘徊に備えて事前に氏名等を登録する『かえるシート』は、徘徊時の早期発見につながっています。【区】 ◆ 地域に密着したサービスを提供する事業者(電気、ガス、新聞など現在 7 事業者)が、異変を発見した場合に区に通報する仕組みが始まりました。事業者と行政が連携することにより孤立や孤立死を防止します。【市】 |
| <p>●高齢者・子育て世帯等の孤立防止、虐待の予防への取り組み支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者や子育て世帯などが地域で孤立することなく生き生きと暮らせるよう、地域の方々の交流の場づくりや互いに助け合う活動の支援、相談支援の充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 母親の孤立感や不安感を解消するため、看護職有資格者が乳児のいる家庭を訪問する『元気っ子育てサポート』訪問、地域で子育て支援活動をしている方による『こんにちは赤ちゃん訪問』を実施しました。【区】 ◆ 児童虐待予防推進月間を中心に、オレンジリボンの配布、啓発パネル展示など、広報に力を入れました。【区】 ◆ 子育て不安の軽減を図る目的で開催した育児講座『わくわく子育て広場』には大勢の親子が来場しました。運営にあたる公私保育園職員の交流により保育の質の向上にもつながりました。【区】 ◆ 10 月の障害者虐待防止法の施行を受け障害者虐待防止センター(24 時間通報受付)を開設するなど、障害者虐待防止事業が始まりました。【市】 ◆ 高齢者虐待防止の啓発グッズを作成しました。また、薬剤師会に依頼し、区内 110 か所の薬局に、虐待防止の啓発ポスター掲示を依頼しました。【区】 ◆ 高齢者の介護者セミナー開催時に託老サービスを行い、参加しやすい環境整備を行いました。【区】 |

| 平成 24 年度の取り組み目標 | 振り返り |
|--|--|
| <p>●高齢者、障がい者、子育て世帯等への理解促進</p> <p>◆ 障がいや認知症などについて関心と理解を深めるための啓発を行い、誰もが地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。</p> | <p>◆ キャラバンメイトによる『認知症サポーター養成講座』の支援や認知症予防講演会を通じて啓発を行いました。【区】</p> <p>◆ 精神障害者に対する理解促進のための講演会を開催しました。【区】</p> |
| <p>●貧困の世代間連鎖への対策</p> <p>◆ 大学やNPO・地域と協働し、生活困窮世帯への学習支援を継続していきます。</p> | <p>◆ 区に配置された教育支援専門員による事業への参加勧奨により、参加者が前年度の3倍になりました。参加者は熱心に学習に取り組み、成績や学習態度の向上が見られます。また、関係機関と連携し、事業に係るシンポジウムを開催しました。</p> |

| 平成 25 年度の取り組み |
|--|
| <p>●地域で見守る仕組みづくり</p> <p>◆ 地域と支援機関が連携し、ひとり暮らし高齢者等の支援が必要な人を見守る仕組みをつくりま</p> <p>す。</p> <p>◆ 日常的な近所づきあいが安全で安心なまちづくりにつながることや、問題の早期発見の必要性を啓発します。</p> <p>●高齢者・子育て世帯等の孤立防止、虐待の予防への取り組み支援</p> <p>◆ 高齢者や子育て世帯などが地域で孤立することなく生き生きと暮らせるよう、地域の方々との交流の場づくりや互いに助け合う活動の支援、相談支援の充実を図ります。</p> <p>●高齢者、障がい者、子育て世帯等への理解促進</p> <p>◆ 障がいや認知症などについて関心と理解を深めるための啓発を行い、誰もが地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます。</p> <p>●貧困の世代間連鎖への対策</p> <p>◆ 大学やNPO・地域と協働し、生活困窮世帯への学習支援を継続していきます。</p> |

★ 平成 25 年度 区役所の取り組み

【高齢者支援に関する主な取り組み】

＜高齢・障害支援課、福祉保健課＞

| 取組内容 | 取組例 |
|--|--|
| ○ 高齢者が孤立せず、住み慣れたまちで健康に安心して生活し、区民同士の交流、支え合い、見守りが活発に行われる地域づくりを支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民が介護予防に関する意識を高めるきっかけとなるよう、講座や講演会を開催する他、地域で活動する介護予防グループの支援を行います。 ・身近な地域で区民同士が交流しながら介護予防を行う場となる「元気づくりステーション」を増やし、その安定的な実施のための支援を行います。 ・区が保有するひとり暮らし高齢者の個人情報をもとに、民生委員と地域包括支援センターに提供することにより、地域での見守り活動を推進します。 |
| ○ 認知症、虐待の予防と早期発見・対応に関する啓発・普及に取り組み、介護者の支援と共に、地域住民の理解を深めていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者事前登録制度の周知に取り組みるとともに、区民の認知症に対する理解を深めます。 ・虐待防止に関する啓発を行うとともに、虐待相談窓口の周知に取り組み、早期発見につなげます。 ・介護者向けのセミナーや介護者のつどいを実施します。 |

【障がい児者支援に関する主な取り組み】

＜高齢・障害支援課、こども家庭支援課＞

| 取組内容 | 取組例 |
|--------------------------------|--|
| ○ 障がいがある人も地域で安心して生活できるよう支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の余暇活動を支援します。 ・障がい者や家族の健康づくりのため、健康講座を開催します。 ・障がい者に対する理解を促進するための取り組みを行います。 ・支援者ネットワークの強化を図ります。 |

【子育て支援に関する主な取り組み】

＜こども家庭支援課、地域振興課、福祉保健課＞

| 取組内容 | 取組例 |
|---|---|
| <p>○ 子育て当事者、地域団体、関係機関との連携により、子どもの健やかな成長を見守り、地域で子育てを支えあう仕組みをつくります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 区内の子育てに関わる団体や関係機関のネットワークづくりを進めるとともに、講演会等を通じて養育者や支援者の子育てに関する知識の向上を図ります。 • 地域団体等と連携して児童虐待対策を推進します。 • 身近な地域にある保育所や地域ケアプラザを会場にして、食育の推進や子育て支援を行います。 • 小中学生に対して、生命の尊さや男女相互理解について学習する場を提供します。 |
| <p>○ 地域で孤立しがちな子育て世代を対象に、様々な交流の場づくりを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 出生後早期の母子訪問や、「こんにちは赤ちゃん訪問」に力を入れ、育児不安の軽減を図ります。 • 赤ちゃん会や家庭教育学級等を通じて子育てをしている親の仲間づくりを支援します。 • 子育て支援拠点や保育園、子育て支援者による相談など、身近な地域で相談ができる機会を増やします。 |

【健康づくり支援に関する主な取り組み】

＜福祉保健課＞

| 取組内容 | 取組例 |
|--|--|
| <p>○ 生活習慣病予防や健康に関する意識が高まるよう、保健活動推進員や食生活等改善推進員と連携しながら、区内の健康づくりに関する取り組みを支援します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • ウォーキング等による健康教室を開催するとともに、地域における運動活動を支援する団体のリーダーを育成します。 • 地域の健康づくり教室を支援します。 |

【災害時要援護者支援に関する主な取組】

＜高齢・障害支援課、総務課、福祉保健課、地域振興課＞

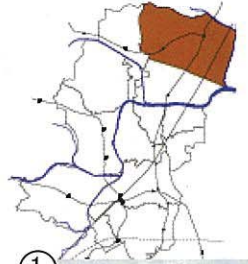
| 取組内容 | 取組例 |
|---|---|
| ○ 災害時に自力で避難することが困難な方々への支援体制を整備するとともに、日頃から地域で見守り活動が行われる仕組みづくりを支援します。 | <ul style="list-style-type: none">• 区役所が保有する要援護者（高齢者、障害者等のうち一定の条件に該当する方）の情報を、ルールに基づいて地域に提供します。• 地域の状況に応じた方法で要援護者が把握され、日頃から見守り活動が行われるよう支援します。 |

★ 平成 25 年度 区社会福祉協議会の取り組み

| 取組内容 | 取組例 |
|--|--|
| <p>○ 地域の福祉活動の支援を行います。 地域住民が主体となって地域の福祉活動を進められるように、ケアプラザと連携して地域の課題分析・整理を進め、地区社会福祉協議会の活動支援を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 13 地区社協活動事例集を拡充します。 • 「地区活動のチェックシート」(地域力検定を改訂)を推進します。 • 地域ケアプラザと連携し、地域の課題発見や支援方法等を検討します。 |
| <p>○ 福祉保健団体の活動支援を行います。 港北区内で活動する福祉保健団体が円滑に活動できるように、港北みんなの助成金や他団体との情報交換の場の提供を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 港北みんなの助成金事業を推進します。 • 区社協分科会活動を通じた区域でのテーマ別課題検討を行ないます。 • 福祉保健活動拠点(活動の場の提供)を運営します。 |
| <p>○ サービスを提供します。 地域だけでは解決が難しい課題に対し、港北区社会福祉協議会として、事業を行い、サービスを届けます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 障がい者の移動支援に関する情報提供を行ないます。 • 送迎サービスを実施します。 • あんしんセンター(日常生活自立支援事業)事業を実施します。 • ボランティアセンターを運営します。 • 生活福祉資金を貸し付けます。 |
| <p>○ 福祉保健に関する情報を収集し、提供します。 福祉保健活動団体の情報収集提供や広報誌やホームページを通じて福祉に関する情報提供を行い、福祉への関心を高めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 区民活動支援センターと連携し、ロボット(港北ボランティアネットワーク)Web 版を活用して、福祉保健活動団体に関する情報提供を行ないます。 • ふくしのまど(区社協広報紙)を通じて福祉に関する情報を提供します。 • ホームページを通じてタイムリーな情報提供を行います。 |

光と活力に満ちあふれる日吉

～ 一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち ～



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平 25 建都計第 9011 号

◆ 日吉のまちは、こんなまち

港北区で一番北に位置していて、東西に長く、山坂も多いですが、緑豊かで活気のあるまちです。日吉駅前には放射状に伸びる3つの商店街があり、慶應義塾大学もあるため、学生の街として賑わっています。転入者は区内で一番多く、子どもの遊び場や居場所が充実しています。

日吉地区の取り組みを皆さんにご紹介します。



日吉地区
社会福祉協議会
片野会長

詳しくは、[こちら](#)

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

■日吉地区では、5つの地区民生委員児童委員協議会エリアごとに「町ケア連絡会」という推進組織をつくって福祉保健活動を展開し、「日吉地区地域ケア連絡会 全体会議」で、「町ケア連絡会」の取り組みを情報共有しています。また、『「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会』で、地区の幅広い取り組みを情報共有することで、ネットワークづくりを目指しています。

「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会

- 【構成メンバー】
- ◆ 連合町内会
 - ◆ 社会福祉協議会
 - ◆ 民生委員児童委員協議会
 - ◆ 青少年指導員協議会
 - ◆ スポーツ推進委員会
 - ◆ 老人クラブ
 - ◆ ボランティアグループ
 - ◆ 子ども会育成会
 - ◆ 障がい児 自主訓練会
 - ◆ 地域活動ホーム
 - ◆ プレイパーク ほか

日吉地区 地域ケア連絡会 全体会議



★ 町ケア連絡会

～平成 24 年度の取り組み～

★ 日吉町

多世代交流サロン
『サロン日吉「なかよし」』
オープン
(7月27日)



サロンの様子 ▶

★ 宮前

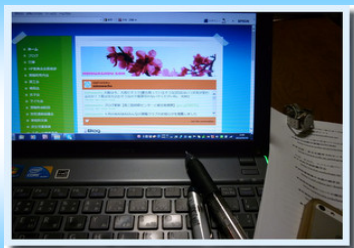
「広報みやまえ」発行
(10月)



広報誌の表紙 ▶

★ 箕輪

町内会の
ホームページの充実
(平成 23 年 10 月から公開中)



ホームページ更新作業 ▶

★ 日吉本町

障がい児サロン
「障がい児のよりどころ」
の充実
(平成 23 年 7 月から活動中)



サロンの様子 ▶

★ 下田

異世代交流の促進

地区共通である災害時要援護者支援の取り組みの様子 ▶



町ケア連絡会 共通の取組

高齢者・障がい者等の

災害時要援護者支援の取組

～平成 25 年度の取り組み～

・今年度から、毎月の企画と接客は各種団体が持ち回りでを行い、映画上映など自由なテーマ設定をすることで、より一層地域の皆さんに知って利用してもらえるように工夫していきます。日吉地区にあった肩ひじのはらない居場所を目指し、協力していきます。
<活動日：毎月第4(金) 13時～15時 場所：日吉町自治会館>

・日吉町宮前地区では、自治会活動がより活性化するように「広報活動の強化」のもとに、年2回の広報誌を発行し、自治会、関連団体、及び自治会推薦各委員等の活動を順次紹介していきます。
(5月に第2号を発行。第3号の発行準備中)

・箕輪町ホームページの存在を幅広く知ってもらう1年にすると共に、町会が防災に力を入れているのと同様、ホームページでも町民の減災に対する意識を高めてもらうよう、防災に関するホームページを充実させていきます。

QRコード ▶



<ホームページ> <http://www.minowachou.com/>

・自閉症やダウン症などの障がいのある中・高校生が、仲間と楽しく過ごせて、親にとっても地域の方々と交流を深めることができる“地域の居場所”になるよう、様々な支援者で協力し、さらに活動を周知していきます。
・個人で参加しづらい防災訓練への参加等、活動内容を工夫します。
<活動日：毎月第3(土) 13:30～15:30 場所：コンフォール南日吉 集会所>

・災害時要援護者支援マップの内容の充実をはかります。
・下田福祉まつりを、平成 26 年度の実施に向けて検討していきます。
例) ◇下田地域ケアプラザ、活動ホームしもだ、下田町公会堂でスタンプラリーを実施
◇活動ホームしもだの秋祭りに合わせて開催
◇下田地域ケアプラザでの軽食の提供、各福祉団体の紹介 等

光と活力 福祉実践活動発表会

〔平成 26 年 2 月 2 日 (日)〕

◆わたしたちのまちの取り組み

| キーワード | 取 り 組 み | |
|-------|---------|--|
| | 目 標 | 具 体 策 |
| つながる | 理解 | <p>地域に暮らす要援護者との顔の見える関係づくりをし、障がいのある方の理解と地域参加を広げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校区を拠点にして、毎年行われている防災訓練を、周知徹底します。 |
| | 担い手 | <p>ボランティア活動に参加する方を増やします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに地域活動に参加（地域デビュー）する方を増やすために、広報紙などを使い、工夫した募集をしていきます。 |
| つながる | ご近所 | <p>向こう三軒両隣の近所づきあいを大切に、災害時要援護者への日頃の見守りを重点化し、人のつながりをつくりまします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない方ともできる唯一のコミュニケーションである「あいさつ運動」を大切にします。 ・それぞれのまちのなかに、高齢者・子育て・障がい児者などの居場所をつくりまします。 |
| | 活動 | <p>活動を通して、ネットワークを強化していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉実践活動発表会“光と活力”を継続し、拡充していきます。 ・ホームページ・広報紙を作り、活動を周知していきます。 |
| つなぐ | 情報 | <p>福祉保健サービスについての情報などが、多くの地域住民の方に届くようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉講座では、まちのお医者さんを迎え、講演会や啓発活動を行います。 |
| | 早期発見 | <p>子育てに悩む方や介護の必要な高齢者など、福祉保健サービスの必要な方の早期発見を行い、関係機関につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区にある下田地域ケアプラザ、日吉本町地域ケアプラザの2館との連携に努め、活動を行います。 |

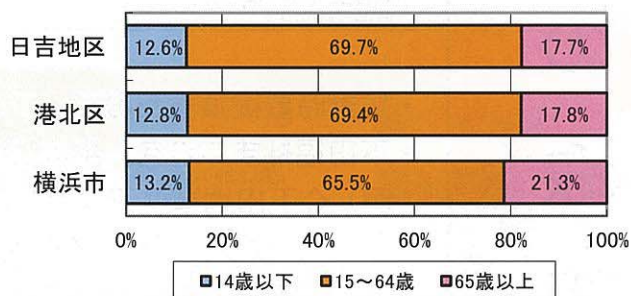
◆日吉地区の人口

世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 日吉地区 | 34,201 | 70,054 | 2.05 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |
| 横浜市 | 1,698,744 | 3,704,046 | 2.18 |

*平成 25 年 3 月末現在

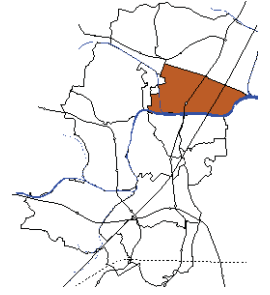
年齢3区分別人口構成



発行： 「光と活力に満ちあふれる日吉」推進委員会

委員長：片野芳昭（日吉地区社会福祉協議会会長・日吉町自治会会長）

元気でふれあうまち 網島



～網島の三大❀花❀祭り～



～網島桃まつり～

場所：網島市民の森（桃の郷広場）

時期：3月中旬頃

網島はかつて桃の一大産地でした。そのため、現在でも桃にちなんだ地名も残っています。



～網島菜の花まつり～

場所：鶴見川河川敷

時期：3月下旬頃

河川敷に菜の花を植え始めて5年。今では河川敷を散歩する方や電車から景色を見る方の目を楽しませています。



～網島桜まつり～

場所：網島公園

時期：3月下旬～4月上旬

網島地区最大のお祭りです。地域の皆さんの出す模擬店が大盛況!モッキーや舞台等、家族全員で楽しめます。

網島地区では上記三大花祭りを始めとして網島少年相撲大会やわんぱくお化け大会など、地域をあげて様々な行事を実施しています。多様な行事を通じ、網島に住む皆さんの交流と顔の見える関係づくりをすすめています。



委員長：大谷宗弘

「元気でふれあうまち 網島」を合言葉に住民参加型の事業を展開しています。今年の『網島桜まつり』は異常気象のため満開の桜が葉桜になってしまい残念でしたが、各自治会ボランティアの方々の模擬店出店で例年通りの人出に恵まれました。これも毎年参加してくれたおかげと感謝しています。網島では桜まつりの他に昔からの桃まつりや鶴見川沿いの菜の花まつりにもぎやかで雪国の春と同様、春が来たうれしさが身体いっぱい広がってこの1年の元気の源になっていることと思います。

一方東部方面線も本格的な工事がスタートします。グリーンラインの開通で網島への人の流入が他地区に流れたものが挽回できればと思っています。その他のインフラの整備に着手する計画も聞いています。

一歩一歩ですがよりよい地域づくりのために前進していきたいと思っています。

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

◆わたしたちのまちの特色

綱島地区は鶴見川河川敷や綱島市民の森、綱島公園といった自然環境に恵まれており、綱島桃まつり、綱島桜まつり、綱島地区センター文化祭、少年すもう大会など、お祭りやイベントも盛んです。綱島街道の西側には綱島駅と商店街があり、東側ではマンション建設が現在も進んでいます。

地区内に小学校が3校あり、港北区内で唯一の特別支援学校もありますが、中学校はありません。

土地はおおむね平坦ですが、一部に歩道がない、道が狭いなど、道路事情のあまりよくないところがあります。



綱島スポーツフェスティバル



綱島少年相撲大会



第九演奏会



わんぱくお化け大会



綱島盆踊り大会

◆これまでの取り組み

綱島地区では、地域福祉保健計画の取り組みとして、平成18年度から災害時要援護者支援に取り組み、要援護者の把握と定期訪問活動を行ってきました。昨年からは3つの部会を立ち上げ、「綱島ひっとプランニュース」を発行するなどの活動を進めています。

また、綱島地区では、配食サービス、サロン活動、敬老会などの高齢者支援や、子育てサロンや公園遊びなどの子育て支援、お祭りなどを通じた障がい者との交流、防災訓練など様々なたすけあいの取り組みが行われています。

◆これから目指していく姿

綱島は、様々な行事・イベントが盛んな地域です。これらをきっかけに、住民同士の交流と、担い手の発掘・育成を行い、地域のさまざまな人材が協働するまちづくりや、幅広い世代がささえあい・たすけあいを実践するまちづくりをすすめていきます。

地区センターや自治会館・町内会館でも様々な団体が活動していますが、これらの団体同士が交流することによって活動が活性化し、幅広い世代が日ごろから顔の見える関係をつくることを目指します。

将来を担う子どもたちが地域への理解を深め、おもいあう心を育てていくため、小学校や特別支援学校等と協力して取り組むとともに、一人暮らし高齢者や障がい児・者など災害時要援護者支援の活動をさらに広げ、地域で見守るまちづくりをすすめます。

こうした人と人の顔の見えるつながりづくりから、綱島に住む人が地域について一緒に考え、一緒に取り組んでいく、地域福祉のしくみづくりをすすめます。

「綱島ひっとプランニュース」や、これから立ち上げる綱島地区連合自治会のホームページで、ぜひ活動の様子をご覧ください。

◆わたしたちのまちの取り組み

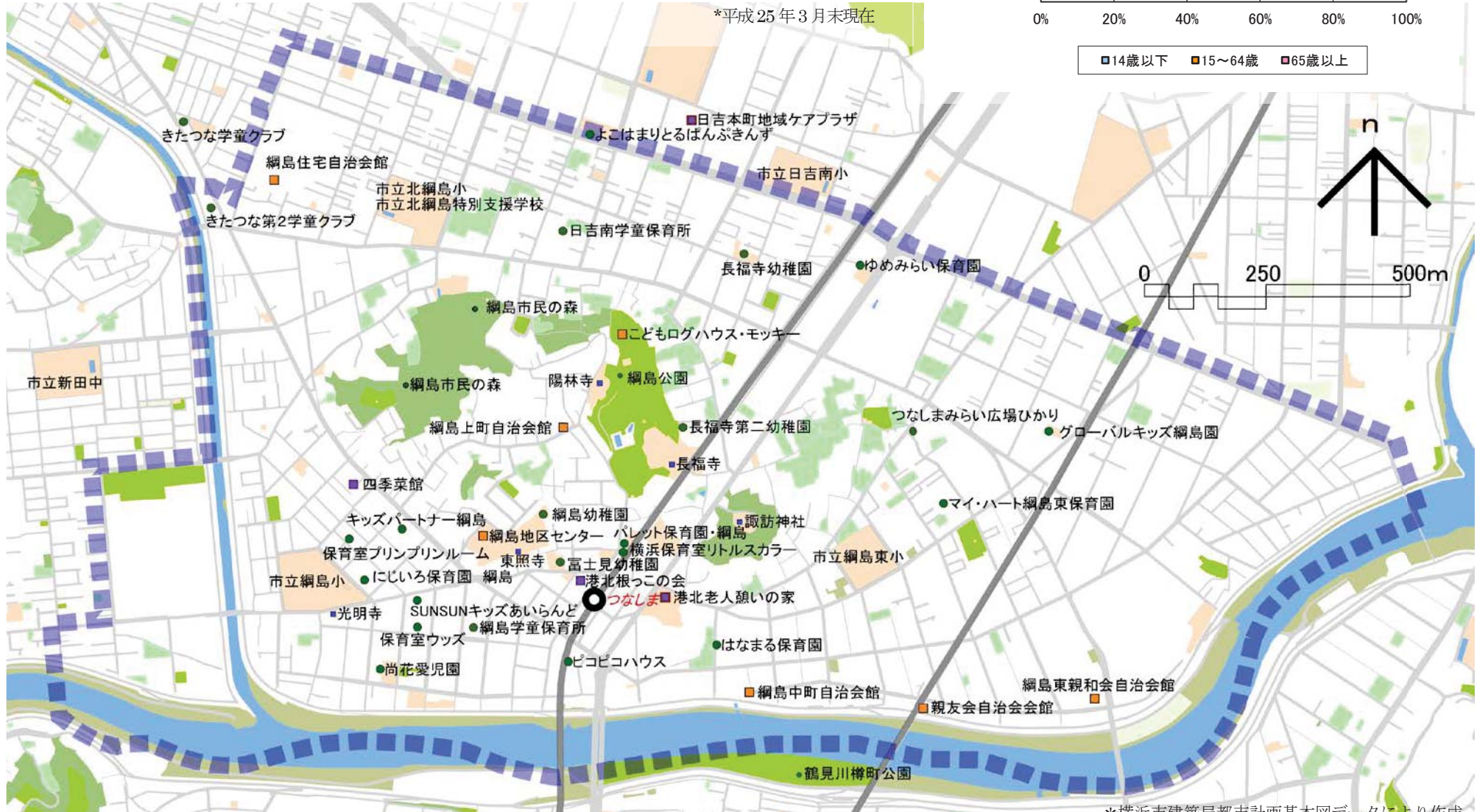
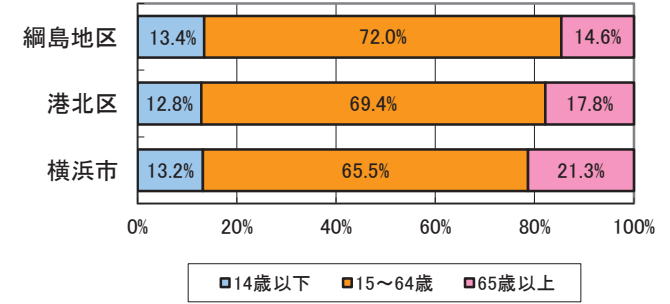
| キーワード | | 取 り 組 み | |
|-------|------|---|---|
| | | 目 標 | 具 体 策 |
| つながる | 理解 | 子どもを含めた幅広い世代と一緒に活動することで、地域のことや地域に暮らすさまざまな人(高齢者や障がい児・者含む)のことを理解し、ささえあいを実践するまちをつくります。 | 自治会町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会や、幼稚園、保育園、小中学校、ボランティア団体、商店街など、地域の団体が行う行事やイベントにおいて、多くの団体が連携し、交流を行います。 |
| | 担い手 | 地域行事・イベントへの幅広い世代の方々の参加をきっかけにして、担い手の発掘・育成をすすめます。 | 活動に対する楽しさを広報するなど、地域の活動団体が、連携して担い手の発掘、育成を行います。 行事やイベントの実行委員会などを中心に、担い手への相談・支援を行います。 |
| つながる | 知る | 日ごろの見守りや災害時に援護が必要な人が地域に暮らしていることを、地域の住民が知ることで、ささえあいのまちをつくります。 | 身近な見守り活動をひろげていくため、自治会町内会を基本にして、地区社協、地区民児協の連携のもと、一体的に災害時要援護者支援を行う体制づくりを進めます。 |
| | 活動 | 子どもや高齢者、障がい児・者などに関わるさまざまな活動のつながりをつくり、幅広い世代同士の、日ごろから顔の見える関係づくりをすすめます。 | 「綱島ひっとプランニュース」や「子連れおでかけマップ」によって、地域で活動している人が互いの活動を知り、連携するきっかけをつくります。 サロン（地域住民の居場所）づくりを検討します。 |
| つなぐ | 情報 | 幅広い世代の方々に、地域活動に関心を持っていただけるような情報発信を行います。 | 「綱島ひっとプランニュース」などによって、情報を地域の方々にとどけます。活動の様子や、参加した人の声もとどけます。 綱島地区のホームページを立ち上げます。 |
| | 早期発見 | 地域で福祉保健サービスが必要な人を早く見つけ、的確に対応できるまちをつくります。 | 災害時要援護者支援の取り組みや地域活動において、子育てに悩む方や介護の必要な方を見つけたときには、地域で見守り、必要があれば地域ケアプラザや関係機関につなげます。 |

網島地区の人口

世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|---------|---------|--------|
| 網島地区 | 19,804 | 40,474 | 2.04 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |

年齢3区分別人口構成



*横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
*横浜市地形図複製承認番号 平25建都計第9011号

いつまでも住んでいたい町

ハートフル大曽根

皆さんに

福祉まつり

健民祭

やすらぎ会（給食会）

ひろげよう

情報

よつ葉会（配食）

ちびサロン

自主防災訓練

つたえよう

継続

ペットボトルロケット大会

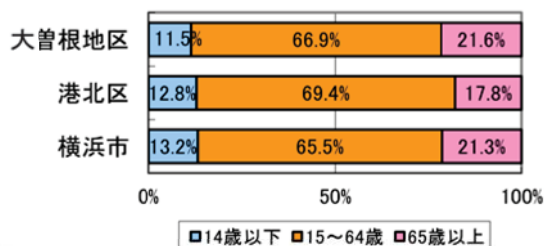
ほっとステーション大曽根

とどけよう

◆ 大曽根地区の人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|---------------------|---------|---------|--------|
| 平成 25 年 3 月末 | 5,306 | 10,830 | 2.04 |
| 平成 24 年 3 月末 | 5,345 | 10,813 | 2.02 |
| 【参考】港北区 (25 年 3 月末) | 159,269 | 330,967 | 2.08 |

年齢3区分別人口構成



※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

平成25年度は大曾根小学校体育館の改修につき、大曾根地区の盆踊り、健民祭は中止となります。祭礼は9月7日、8日に挙行されます。

平成25年度 大曾根地区 団体紹介

【大曾根自治連合会は22の町内会で構成】

あけぼの会・大曾根本町町会・親和会・大曾根東会・中央懇話会・親交会・大曾根北部自治会・大友会
大曾根新生会・盟友会・桃友会・大曾根上本町会・ガーデンズ会・大曾根睦会・巽会・大曾根南台町内会
大曾根六地区・大曾根中町会・真菰会・菰西会・大曾根上町会・ドレッセ大倉山自治会

対象者： ■ 一般 ■ 高齢者 ■ 子ども ■ 障がい者

高齢化率の高い大曾根地区では、以前より高齢者福祉を中心に福祉活動が盛んです。今回は大曾根地区の各種団体の紹介です。ご理解とご協力、そしてご利用ください。

| 地区社会福祉協議会 |
|--|
| 6月：賛助会費加入運動 10月：赤い羽根共同募金 11月4日：福祉まつり 12月：年末助け合い |

| 民生委員児童委員 |
|--------------------------------------|
| 民生委員児童委員は、みなさんから福祉についての相談を受け、支援をします。 |

| 保健活動推進員会 |
|---|
| 10月：ふるさと港北ふれあいまつり 時期未定：研修会 *らくらく体操教室・花しょうぶについては下段に詳細を記載 |

| 消費生活推進員会 |
|---|
| 10月：ふるさと港北ふれあいまつり 9～10月：消費生活啓蒙講座 悪徳商法被害防止啓蒙講座等 11月：こうぼく消費者のつどい |

| 家庭防災員会 |
|--|
| 6月～12月：自主活動 8月：消防夏季訓練協力 11月：自主防災訓練協力 1月：出初め式 3月：研修会 |

| ネットワークの会（民生委員） |
|---|
| 6、11月：研修会・打ち合わせ * 民生委員とともに見守りをしています。研修会は誰でも参加できます。 |

| 大曾根らくらく体操教室（保健活動推進員会） |
|--|
| 登録制・参加者募集 開催日：原則 第2、4水曜日 場 所：大曾根会館1階 参加費：月500円 登録制。直接会場へ。当日参加可 |

| 高齢者ミニデイサービス 花しょうぶ（保健活動推進員会） |
|---|
| 自由参加 開催日：原則 第4金曜日 場 所：樽町ケアプラザ 参加費：100円 直接会場へ 連絡先：樽町ケアプラザ 532-2501 |

| 大曾根自治連合会 |
|--|
| 6月：団体長会議 9月：祭礼 10月：ふるさと港北ふれあいまつり 11月：自主防災訓練 |

| スポーツ推進委員会 |
|---|
| 毎月第2、4日曜日：ペタンク 毎土曜夜：さわやかスポーツ 1月：港北駅伝大会 3月：グランドゴルフ大会 6、9月：ペタンク大会 |

| 青少年指導員協議会 |
|---|
| 7、10月：社会環境健全化（バトロール） 7、9月：ペットボトルロケット大会 8月：おたけ大会 11月：自然体験教室 通年：ひと声かけ運動 |

| 環境事業推進員会 |
|--|
| 10月：ふるさと港北ふれあいまつり 11月：福祉まつり 2月：観梅会 |

| 港北区遺族会 |
|--|
| 5月：慰霊法要、総会（蓮勝寺） 6月：遺品パネル展（区社協3階） 8月15日：全国戦没者追悼式（日本武道館）／県戦没者追悼式 11月：市追悼式（三ツ沢公園内） |

| おおそねちびサロン（民生委員児童委員） |
|---|
| 開催日：第2木曜（8月除）10～12時 場 所：大曾根会館 参加費：無料 *0歳児～未就園児とその保護者が、親子で遊び、楽しく過ごすサロンです。 |

| 地域活動支援センター セサミ香房（障がい者作業施設） |
|--|
| 大曾根1-17-17 531-4892 自主製品（焼菓子、手工芸品）の作成と、1階店舗で販売もしております。ぜひお立ち寄りください。 |

| 大曾根小学校PTA |
|---|
| 大曾根小 542-1785 5月：スポーツフェスティバル 7月：スクールゾーン対策協議会 2月：観梅会 南中ソーラン披露 |

| はまっ子 |
|---|
| 登録制 対象：大曾根小学校に通学する1年生から6年生 * 大曾根小学校内で「放課後の遊び場」として実施しています。 |

| やすらぎ会（給食会） |
|--|
| 登録制・若干空きあり 開催日：原則 毎月20日（除8月） 場 所：大曾根会館1階 参加費：300円 対象：65歳以上で一人暮らしの方 |

| よつ葉会（配食） |
|---|
| 登録制・ボラ募集 配達日：金曜日の夕食（月4回、除8月） 料金：1食400円 対象：高齢で食事作りの困難な一人暮らし又は夫婦世帯 |

| 大曾根ほっとステーションパル（居場所） |
|--|
| 自由参加 皆さんの憩いの場所（日祝除く） 平日：10時～12時、13時～17時 土曜：10時～12時、13時～15時 利用料：100円（茶菓子つき） |

| 木曜サロン（おれんじの会） |
|---|
| 自由参加 開催日：原則 第4木曜日 場 所：大曾根会館1階 参加費：100円 対 象：一般 |

| クリーンクラブ（環境） |
|---|
| * 毎週金曜日、地域内の資源回収を指定場所で実施 8月：盆踊り協力、老人会への協力 11月：福祉まつり協力参加 |

| 子ども会 |
|---|
| 7月20～26日：ラジオ体操 8月：子ども大会 大曾根地区を歩く会 9月：ペットボトルロケット大会 1月：子ども大会 書道展 |

| 明るい選挙推進員 |
|------------------------------|
| * 楽しく選挙に行けるように運動 * 区行事に参加 |

| 消防団 第4分団 |
|--|
| 7月7日午前10時～ 消防団第4分団夏季訓練会 場所：樽町中学校において |

| 交通安全協会 |
|---|
| 4月：春の全国交通安全運動 7月：夏の交通事故防止キャンペーン 9月：秋の全国交通安全運動 12月：年末交通事故防止運動 |

| 大樽地区老人会 |
|---|
| 大曾根 親友会 大曾根 福寿会 大曾根 友和会 大曾根 上本町会 |

| 棋 楽 会 |
|---|
| 大曾根会館：木曜日 13時～17時 樽町ケアプラザ：月曜日（第4除）9～16時 第2水 13～17時 入会金：500円、年会費：3,000円 |

| 保 護 司 会 |
|-------------------------|
| * 活動は法務省保護観察所との連絡となります。 |

| 大曾根商店街・大曾根商業協同組合 |
|--|
| 毎月第3日曜日（8月未定）：朝市 第3木曜日：とくとくクーポン券の日 7月：現金つかみ取り抽選会 9月：さんまの炭火焼 10月：秋の味覚の抽選会 12月：正月用品の抽選会 |

平成25年度 ハートフル大曽根の取り組み

- ◆ 『あんしんカード』配布事業の継続
- ◆ 『あんしんカード』活用の確認（アンケートの実施）と推進
- ◆ 『ザ・ニュース大曽根』の発行
- ◆ 大曽根地区で活動をしている団体の紹介
- ◆ 講演会の開催

『あんしんカード』を活用されていますか？

平成23、24年度に『あんしんカード』を全戸配布しました

『あんしんカード』は、震災などの災害時や、自宅・外出先での急病や大怪我などで自分の状況を伝えられなくなった場合に、必要な情報を素早く救急隊員などに伝えるためのカードです。緊急連絡先や主治医、既往症、服用薬、その他伝えたいこと、注意してほしい事等を記入しておくことで、支援する人が適切な対応をすることができます。

『あんしんカード』携帯版 (平成23年度配布)

| | | |
|---------|-----------|--------------------|
| あんしんカード | | 港北区大曽根自治連合会 町会名 |
| (ふりがな) | | |
| 氏名 | | |
| | 大正・昭和・平成 | 年生 |
| 住所 | 横浜市港北区大曽根 | |
| 電話 | | |
| 主治医 | 病院 | 先生 |

- ★ このカードは、外出時には常に携帯しましょう。

大曽根地区の『あんしんカード』事業は、警察署と消防署にもお知らせしています。

『あんしんカード』自宅掲示版 (平成24年度配布)

| | |
|--|---------|
| ハートフル 大曽根 | あんしんカード |
| 火災・救急・救助 | ▶ 119 |
| 警察への事件・事故の急報 | ▶ 110 |
| あんしんカードは救急の時に救急隊等に 早く情報を伝えるためのものです 緊急連絡先にはあらかじめ連絡をお願いします ビニール袋に入れ、冷蔵庫にマグネットで貼ってください 健康保険証のコピーを入れることをお奨めします | |

- ★ このカードはビニール袋などに入れ、冷蔵庫付近に掲示しておきましょう。
- ★ 避難通知マグネットも冷蔵庫などに貼り、緊急避難時には必要事項を記入し玄関やポストに貼って下さい。
- ★ 避難時には、『あんしんカード』をご持参下さい。

思いあいのまち 樽町



樽町地区キャラクター「たる坊」

思いあい

樽町イベントカレンダー 合併号

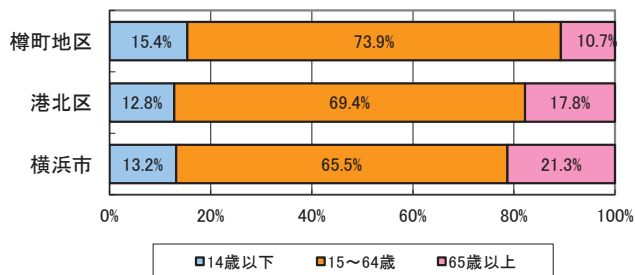


* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平 25 建都計第 9011 号

◆樽町地区の人口

| | 人口 | 世帯数 | 平均世帯人数 |
|--------------|--------|-------|--------|
| 平成 25 年 3 月末 | 15,602 | 7,253 | 2.15 |
| 平成 24 年 3 月末 | 14,611 | 6,936 | 2.09 |
| 平成 23 年 3 月末 | 13,675 | 6,329 | 2.08 |

年齢3区分別人口構成



※ 「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

樽町 思いあいのイベントカレンダー

イベントの内容は変更になる場合がございますので、ご参加の前に必ず各自ご確認ください。
※参加費の記載がないものは【無料】です。



8月 イベント スケジュール

夏の「ちびたる」は公園でプール遊び
○となりの島蒲公園にビニールプールを並べてプール遊び。家じゃできないし、網島公園の子どもプールはちょっと心配という方、おすすめです。



| ジャンル | イベント名 日時・時間 | 内容 | 参加対象 | 問合せ先 |
|------|--|--|-------------------------------------|---|
| ☎ | ミニ樽サロン ○1日(木)12:00~14:30 樽町地域ケアプラザ | 精神保健サロン(昼食・喫茶) 参加費300円(昼食・お茶菓子代) | 心の病む方とご家族 | ★要予約 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 🎵 | 地元樽町志隆の会 ○2日(金)14:00~16:00 樽町地域ケアプラザ | 落語の会 参加費:500円(お茶菓子代) | どなたでも | ★要予約 申込み:濱崎様 545-2375 |
| ☎ | 子育て支援者相談会 ○6・20・27日(火)9:30~11:30 樽町地域ケアプラザ | お子さんを遊ばせながら育児の不安や悩みごとなどが相談できる場です | 乳幼児とご家族 | 問合せ:港北福祉保健センター こども家庭支援課 540-2365~2367 |
| 😊 | ちびたる ○7日(水)10:00~11:30 樽町地域ケアプラザ | 7日は公園でプール遊び(持ち物:水着・タオル・着替え)、16日はお休みです | 未就園児(保護者同伴) | 090-5823-1190(ちびたる携帯) メール:chibi-taru.1190@docomo.ne.jp |
| ☎ | みんなのたまり場 ○7日(水)12:00~16:00 樽町地域ケアプラザ | 世代間交流サロン(フリースペース) | どなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 🎵 | 囲碁将棋サロン ○14日(水)13:00~17:00 樽町地域ケアプラザ | 囲碁将棋の対局が自由にできます | どなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| ♿ | 介護者交流会 ○16日(金)13:30~15:00 樽町地域ケアプラザ | 日々の介護を通じて思っていることや感じていることを参加者同士で分かち合えます | 区内在住の介護者や介護を経験された方 | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| ★ | 網島・大曾根・樽町子ども連交流のタペとお化け大会 ○17日(土)17:00~21:00 網島地区センター・網島公園 | 第1部:JAXAの阪本成一先生のお話し(予定) 第2部:お化け大会 | 網島・大曾根・樽町地区の200名の小学生。回覧・掲示版をご覧ください。 | 網島地区センター お化け大会実行委員会 545-4578 |
| 🏠 | 防災リーダー研修会 ○18日(日)9:00~12:00 樽町中学校中庭・防災倉庫周辺 | 地域の防災器具等の点検と防災器具の操作研修です | 各町会単位で、参加者をまとめています。 | 各町会役員 |
| 🍵 | わかば会 ○20日(火)12:00~ 樽町地域ケアプラザ | お昼ご飯を一緒に食べながら、会話をします 参加費:200円 | 樽町在住の65歳以上の方 | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 😊 | ラジオ体操 ○20日(火)~23(金)6:30~ 樽町白梅幼稚園 | 朝のラジオ体操です。最終日の23日は参加費を渡します | 樽町在住小学生 | kodomo@hmwr-lsi.co.jp |
| ☎ | ふれあい広場花しょうぶ ○23日(金)13:30~15:00 樽町地域ケアプラザ | 高齢者向けミニテイスロン(茶話会) 参加費:100円(お茶菓子代) | 高齢者ならどなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |

| ジャンル | イベント名 日時・時間 | 内容 | 参加対象 | 問合せ先 |
|------|---|---|------------------|---|
| 🎵 | 藍染め体験教室 ○24日(土)10:00~12:00(予定) 樽町地域ケアプラザ | 藍の生葉を使って染め物の体験をします。お子様から大人まで、どなたでもご参加できます。 ※詳細につきましては、今後発行されるケアプラザ広報紙等にてご案内いたします | どなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 😊 | 離乳食教室 ○28日(水)10:15~15:45 樽町地域ケアプラザ | 栄養士のお話 簡単な調理の紹介と実習や試食など ※各コースの開始時間が異なりますので、ご注意ください | 月齢によって4コースに分かれます | 問合せ:港北福祉保健センター 健康づくり係 540-2362・2363 |

9月 イベント スケジュール

「ふれあい広場花しょうぶ」にぜひご参加ください!
○ちょっとしたお菓子をいただきますから、楽しくしゃべり。毎月第4金曜日に開催しますので、ぜひ遊びに来てください。思い出話に花が咲くことも。



| ジャンル | イベント名 日時・時間 | 内容 | 参加対象 | 問合せ先 |
|------|--|--|-------------------------------------|---|
| 🏊 | 港北区ベタンク大会 ○1日(日) 樽町公園 | 4月の樽地区ベタンク大会の優勝・準優勝チームが参加。区役所で一般参加も募集中 | 小学生以上 | 港北区役所地域振興課 540-2233 |
| 🏮 | 杉山神社祭礼 ○1日(日) 杉山神社 | 今年は例大祭ではないので、出店はありません | どなたでも | |
| ☎ | 子育て支援者相談会 ○3・10・17・24日(火)9:30~11:30 樽町地域ケアプラザ | お子さんを遊ばせながら育児の不安や悩みごとなどが相談できる場です | 乳幼児とご家族 | 問合せ:港北福祉保健センター こども家庭支援課 540-2365~2367 |
| ☎ | みんなのたまり場 ○4日(水)12:00~16:00 樽町地域ケアプラザ | 世代間交流サロン(フリースペース) | どなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 😊 | ちびたる ○4日(水)・20日(金)10:00~11:30 樽町地域ケアプラザ | みんなで一緒に遊びましょう。4日はスイカ割り(持ち物:おてふき)、20日は自由遊び | 未就園児(保護者同伴) | 090-5823-1190(ちびたる携帯) メール:chibi-taru.1190@docomo.ne.jp |
| ☎ | ミニ樽サロン ○5日(木)12:00~14:30 樽町地域ケアプラザ | 精神保健サロン(昼食・喫茶) 参加費300円(昼食・お茶菓子代) | 心の病む方とご家族 | ★予約 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 🎵 | 地元樽町志隆の会 ○6日(金)14:00~16:00 樽町地域ケアプラザ | 音楽と落語の会 参加費:500円(お茶菓子代) | どなたでも | ★要予約 申込み:濱崎様 545-2375 |
| ✂️ | 港北区ペットボトルロケット大会 ○7日(土)8:30~12:00 樽町公園 | 樽地区でのペットボトルロケット製作講習会に参加してなくても、大会には参加可能です。飛距離を競いましょう! | 小学生を対象としています。申込方法は、掲示板、回覧にてお知らせします。 | 各町会・青少年指導員・スポーツ推進委員 |
| 🎵 | 囲碁将棋サロン ○11日(水)13:00~17:00 樽町地域ケアプラザ | 囲碁将棋の対局が自由にできます | どなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 😊 | 樽町地区赤ちゃん会② ○18日(水)10:00~11:30 樽町地域ケアプラザ | 手遊びや母親同士の情報交換、保健師による相談も受けられます | 樽町在住の月齢7カ月以上の子どもとその保護者(第1子の方) | 問合せ:港北福祉保健センター こども家庭支援課 540-2365~2367 |
| 😊 | 樽町地区赤ちゃん会① ○19日(木)10:00~11:30 樽町地域ケアプラザ | 手遊びや母親同士の情報交換、保健師による相談も受けられます | 樽町在住の月齢7カ月未満の子とその保護者(第1子の方) | 問合せ:港北福祉保健センター こども家庭支援課 540-2365~2367 |
| ♿ | 介護者交流会 ○20日(金)13:30~15:00 樽町地域ケアプラザ | 日々の介護を通じて思っていることや感じていることを参加者同士で分かち合えます | 区内在住の介護者や介護を経験された方 | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| 🍵 | わかば会 ○20日(金)12:00~ 樽町地域ケアプラザ | お昼ご飯を一緒に食べながら、会話をします 参加費:200円 | 樽町在住の65歳以上の方 | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |
| ☎ | ふれあい広場花しょうぶ ○27日(金)13:30~15:00 樽町地域ケアプラザ | 高齢者向けミニテイスロン(茶話会) 参加費:100円(お茶菓子代) | 高齢者ならどなたでも | 樽町地域ケアプラザ 532-2501 |

◆「思いあいのまち樽町」が目指す姿

「思いあいのまち樽町」（樽町地区ひっとプラン推進委員会）は、住民同士の顔が見える関係をつくるための取り組みを行ってきました。また、樽町連合町内会や各自治会町内会、樽地区社会福祉協議会は、子どもから高齢者まで楽しく快適に暮らすまちづくりに取り組んでおり、多くの活動やイベントが行われています。

樽町は、新しい、若い世代の方々の転入が多い地区です。それらの方や、また、以前から住んでいる方にも、地域で行われている様々な活動に関心をもっていただけるよう、情報をより多くの方に届け、参加と協力を広く呼び掛けていきます。住民同士が、日ごろから気軽に顔が見える関係をつくるきっかけとなるような場と機会をつくり、“思いあい”の輪づくりをすすめます。そしてその“思いあい”の輪を、子どもや高齢者、障がい児・者の見守りへと広げていきます。こうした取り組みを通して、住む人に自分の「ふるさと」と愛着を持たれる樽町に育てていきます。

樽町ふれあいのつどい

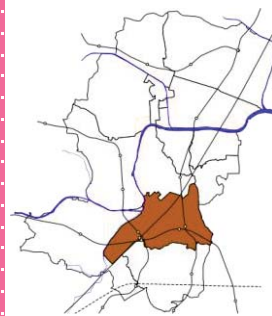


樽町歩こう会



◆これからの取り組み

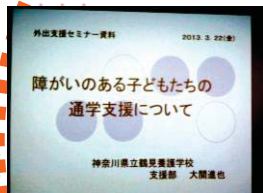
| キーワード | | 取 り 組 み | |
|-------|------|--|--|
| | | 目 標 | 具 体 策 |
| ひろがる | 理解 | <ul style="list-style-type: none"> 地域活動への理解と関心を広げます。 活動団体同士の相互理解をはかります。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域で行われるイベントの内容を工夫し、協働する団体を増やしていきます。 地域住民が、障がい者への理解を深める機会をつくります。 |
| | 担い手 | <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の担い手発掘・育成を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 「樽町イベントカレンダー」などで担い手への参加を呼びかけます。 |
| つながる | 知る | <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉やまちづくりに携わる人同士が互いに知り合い、連携していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の活動がわかるイベントカレンダーやマップを発行します。 樽町地区で行われている様々な活動がどのように連携していくかを、色々な機会に話し合っていきます。 |
| | 居場所 | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代が気軽に集える居場所をつくっていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> マンションの集会所などを利用したサロンの開催を検討します。 |
| | 活動 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもと地域の大人、特に高齢者との顔が見える関係づくりをすすめます。 | <ul style="list-style-type: none"> 公園での体操や清掃、植栽など、高齢者と子どもと一緒に活動する機会と場をつくります。 連合町内会の行事などに、幅広い年齢層の参加をすすめます。 |
| くみあ | 情報 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報が届きにくい方々への提供方法を工夫します。 | <ul style="list-style-type: none"> チラシ、ポスターなどによる情報提供をすすめ、どなたにも見やすく、関心を持ってもらえるような工夫をします。 ホームページの充実をはかります。 |
| | 早期発見 | <ul style="list-style-type: none"> 顔が見える関係づくりから、見守りの必要な人を早期に発見し、災害時の要援護者対策にもつなげていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 困ったことがあったときや、困っている人を見つけたときの相談先を「樽町イベントカレンダー」などに掲載します。 |



みんなで支えあう まちづくり

大豆戸

障がいのある児童・生徒の
通学支援のセミナー



大豆戸小児童と
いずみ会の交流

ひろがる
つながる
とどく

港北区地域福祉保健計画

「ひっとプラン港北」

知っておきたい
わがまちの
取り組みはこちら

菊名北町



高齢者110番



篠原北



表谷交流サロン



各所に設置したベンチ



菊名地区敬老会

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です

◆わたしたちのまちの特色

- ・菊名地区は交通の利便性が比較的よく、公的施設、医療機関、商業施設も多く区内でも早くから開発された地域です。人口は約 42,000 人で、高齢人口が年少人口よりやや多くなっています。高齢化が進んでいる一方で新築マンションが建ち、転入者の多い地域でもあります。
- ・新横浜、大豆戸町などは比較的平坦な地形ですが、篠原北、錦が丘や菊名の一部などは山坂が多い地形となっています。このように、特徴の異なる地域がまとまって1つの地区を形成しており、抱えている課題が地域ごとに異なる面も見られます。

◆これまでの頑張り

- ・菊名地区は第一期地域福祉保健計画（平成18年—22年度）でさまざまな取組みを立ち上げ、成果をあげてきました。

- ・**支えあい連絡協議会**では、菊名駅バリアフリー化の実現、高齢者や小学生の見守り活動、障がい者の会やその支援団体などによるバザー「らくらく市」への参加、「生活安全安心メモ」の作成、また高齢者支援のためのアンケート調査、交通弱者のための階段・坂道など歩行困難道路の調査などを行ってきました。

- ・**菊名地区社会福祉協議会**では、民児協による一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会や子育てサロン等の活動、地域ケアプラザを中心とした子育てフリースペース、高齢者の介護予防サロン、障がい者等との交流事業やボランティア講座など様々に取り組んできました。

- ・**地域**では、相乗りタクシー、お出かけバス、打ち水大作戦、七夕、ハロウィン等、地域や参加対象も多様な自主的な活動が活発に行われてきました。

らくらく市



公園遊び
「びよんびよん」

◆これから目指していく姿

- ・第二期地域福祉保健計画（平成23年-27年度）は、行政、区社会福祉協議会、各種団体、地域住民（町内会）が一体となって地域の福祉計画を策定し実現化するプログラムです。菊名地区は住環境の特性ごとに**菊名北町**、**大豆戸**、**篠原北**の三地区別に福祉計画を立案し、三地区の「**ひっとプラン**」を策定しました。

- ・**菊名北町**は高齢者110番のステッカーを設置し、高齢者を地域で見守り住民同士の連帯、安心感を目指します。現在ステッカーの協力を得ている約70世帯に加え、今後とも賛同者を増やしていきます。

大豆戸地区は障がいのある子どもとその家族について理解を深めるよう取組みます。当事者や家族との話し合い、施設訪問、ボランティア講座への参加などを通して、地域での見守りや支援を広げる地域づくりを進めていきます。

篠原北地区は高齢者が安全、安心して生活出来る町を実現するための環境づくりをすすめます。災害時の要援護者や高齢者の見守り活動、高齢者の孤立化、引きこもりを防ぐ交流サロンの運営を充実させていきます。

◆わたしたちのまちの取組み [3地区別]

| | | 取組み【ひろがる つながる とどく】 | |
|------|------|---|--|
| | | 目 標 | 具 体 策 |
| ひろがる | 菊名北町 | みんなで支えあう町づくりを目指し地域の高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域づくりをすすめます | 高齢者110番 の3点セット(ステッカー・対処マニュアル・事案発生記録書)を作成し、地域の賛同者宅(菊名東口商栄会を含む約70世帯)に設置しました。引き続き賛同者を募ります。 |
| | 大豆戸 | みんなで支えあう町づくりを目指し障がいのある子どもとその家族について、地域での見守りをすすめるため、障がい者への理解を深める取組みを行います | 発達障がい児・家族と支援者の講演受講や地域の障がい児関係の専門家の話を聴く会(障がいある児童・生徒の通学支援のセミナー)を実施しました。引き続き地域の方々に障がい児・者理解を深める講座などを検討します。 |
| | 篠原北 | みんなで支えあう町づくりを目指し、安心・安全な町を実現するための環境づくりをすすめます | 高齢者が安心して出かけられるよう、坂道の多い地域を中心に、休憩できる ベンチ 等を設置しました。 |
| つながる | 菊名北町 | 町内会、民生委員児童委員協議会、大豆戸地域ケアプラザ、区社会福祉協議会等と、高齢者への取組みに関する情報の共有化を図ります | 防犯パトロールや家庭防災員、老人クラブ等 隣近所への声かけ 運動の実施、民生委員の定期訪問を継続して進めます。 |
| | 大豆戸 | 障がいのある子供と日常密接に関わっている、地域の福祉関係施設などと連携して、障がいのある子供や家族との交流が出来るような活動への取組みをすすめます | 地域ケアプラザ、地域活動ホームや障がい者福祉施設の協力を得て、 障がい児の通学支援 を開始し、地域での支援のひろがりを目指します。 |
| | 篠原北 | 一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守りが出来る地域を目指します | 災害時要援護者支援 の取組みとして、災害発生を想定した防災訓練と同時に、 各家庭の安否確認 を町内会・民生委員の協力のもと2回実施しました。 |
| とどく | 菊名北町 | 一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守り活動及び行政と協力し高齢者の安否確認への取組みを行います | 高齢者を地域で見守り、住民同士の連帯感・安心感の更なる向上のため、 高齢者110番 のステッカー設置を増やしていきます。 |
| | 大豆戸 | 区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と情報を共有し、障がいのある子供と家族へ地域の取組みなどの情報を届け、地域との交流の機会をつくります | 地域の諸行事や、イベント等への障がい児者・家族の参加等を応援して、地域との交流の機会をつくり、 障がい児・家族の地域での見守り のきっかけにします。 |
| | 篠原北 | 一人暮らし高齢者の孤立化と引きこもり防止対策として、サロンを活動拠点としたたまり場の交流と助けあいの活動を集めて、見守りネットワークに役立てます | 表谷交流サロン会による①たまり場の交流(表谷交流サロン)、②新たなたすけあいボランティア(あなたの出番係)を通じて、公的サービスのすき間を埋める見守りネットワークを拡充していきます。 |

みんなを支えあうまちづくり

菊名地区

11 自治会・町内会
加入世帯数
14,381 世帯
(H25.3 月末現在)

菊名北町

- ◆菊名北町町内会(菊名3丁目の一部、4・5・6丁目、7丁目の一部)
- ◆大倉山喜久和会(菊名7丁目の一部、大豆戸町1040~1042)

高齢者110番

高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域

- ◆大豆戸町内会(大豆戸町※一部を除く)
- ◆大倉山ハイム町内会(大倉山ハイム)
- ◆新横浜町内会・新横浜自治会(新横浜1丁目※アデニウム新横浜以外、2・3丁目)
- ◆アデニウム新横浜自治会

障がい者を理解しよう

障がい児とその家族を見守り、理解、交流を深める

大豆戸

篠原北

- ◆錦が丘町内会(錦が丘、富士塚2丁目の一部)
- ◆表谷町内会(篠原北1丁目の一部、2丁目、篠原町の一部)
- ◆泉ヶ丘町内会(篠原北1丁目の一部)
- ◆いじ町内会(富士塚2丁目の一部)

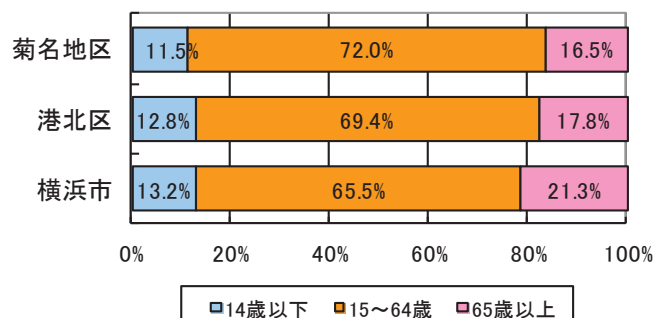
高齢者が安全、安心な地域を実現するための環境づくり

世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 菊名地区 | 21,835 | 41,943 | 1.92 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |
| 横浜市 | 1,698,744 | 3,704,046 | 2.18 |

*平成25年3月末現在

年齢3区分別人口構成



わが町師岡

— 安全・安心・住みよい町づくり —



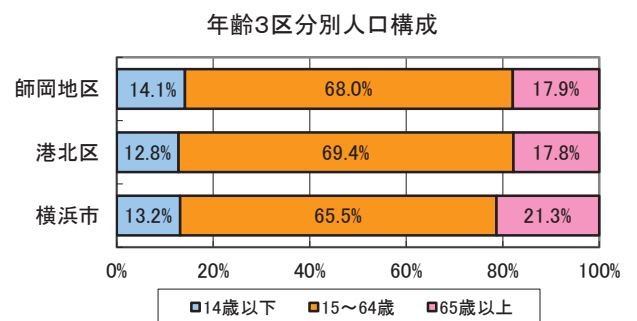
もろおかちょう



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
 * 横浜市地形図複製承認番号 平 25 建都計第 9011 号

1 師岡地区の世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|--------------|-------|--------|--------|
| 平成 25 年 3 月末 | 4,526 | 10,119 | 2.24 |
| 平成 24 年 3 月末 | 4,571 | 10,083 | 2.21 |
| 平成 23 年 3 月末 | 4,578 | 10,149 | 2.22 |



※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

2 わたしたちのまちの特色

- ・師岡町は港北区の東に位置し、平成4年に菊名町から分離し、環状2号線をはさんだ4つの地区の町内会（打越、南、仲、表谷）で連合町内会を組織しています。連合町内会と地区社会福祉協議会が一体となって「師岡地区ネットワーク」を形成しています。
- ・港北区役所や消防署、港北公会堂にも隣接しており利用に便利な所です。また近年では大型商業施設トレッサ横浜のオープンによって活気を増しています。
- ・和歌山県の熊野三山の祭神と一体の「師岡熊野神社」も当地にあり、初詣には多くの参詣者で賑わっています。
- ・年少人口率14.1%、高齢化率17.9%と、人口構成は比較的バランスがとれています。が、子どもの数は横ばい、高齢者は確実に増加しています。
- ・最近では、丘陵部でのマンション開発が進み、新住民が増えています。

3 これまでの頑張り

- ・わが町師岡の「安全・安心・住みよい町づくり」をめざして進めている「ひっとプラン」の活動は、引き続き行っています。
- ・師岡地区連合町内会と地区社会福祉協議会が発足して20周年を迎えました。記念事業の一環として記念式典を開催し、記念品を町内会の皆さんに配布しました。発足時2,650世帯だった町内会員世帯数は860世帯(32%)も増加し、3,510世帯になりました。
- ・平成23年度に防災訓練の見直しをし、訓練内容や防災備蓄庫のあり方を検討しました。また、トレッサ横浜との協定を結び、その後連合町内会との合同パトロールを毎月1回、第2金曜日に行い、終了後に報告会を行っています。

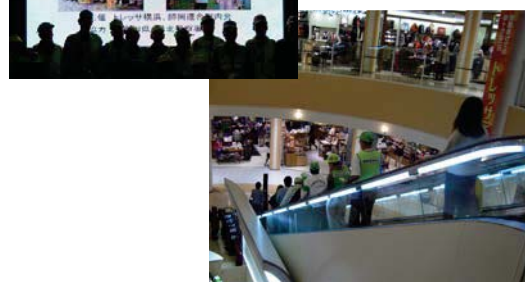
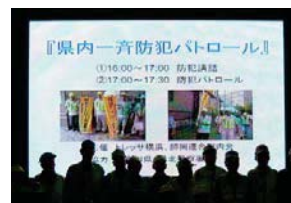
連合町内会 20周年祝賀会



4 これから目指していく姿

師岡町には若く新しい住民パワーが育ってきており、新・旧住民の地域のコミュニティーがますます重要です。地域福祉保健活動の推進として「ひっとプラン港北」も3年目に入り、取り組み内容が少しずつ実行に移され定着してきています。「ひろがる・つながる・とどく」の活動をさらに進めていきます。師岡地区の出生率は横浜市でも高率であり、これまでの高齢者福祉とともに子育て世帯の支援にも力をいれていきたいと思ひます。

トレッサ横浜での合同パトロール



5 わたしたちのまちの取り組み

以下は、今年度で開催された検討の場において出された意見を整理したものです。今後とも、取り組みの進捗に応じて、さらなる展開策や新しい方策を充実させていきます。

| キーワード | 取 り 組 み | | |
|-------|---------|---|---|
| | 目 標 | 具 体 策 | |
| ひろがる | 理解 | <ul style="list-style-type: none"> ● 連合町内会・地区社会福祉協議会の活動内容を地域住民に周知し、参加を促します。 ● 高齢化社会への理解を広げます。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 連町、地区社協の活動を知らせるため、引き続きイベントカレンダーを発行します。 ● 認知症に関する講座や介護予防教室などをさらに推進します。 |
| | 担い手 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動に参加する住民を増やします。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 縁日、盆踊り、運動会、防災訓練等の場をとらえ、担い手の発掘を継続します。 |
| | 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心のまちづくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板側面に消火器を設備したので、今後維持管理に努めます。 ● 町内の企業と提携し、防犯パトロールのさらなる充実をはかります。 ● 生活道路、通学路などでの歩行者の安全対策として、道路の拡張および道路標識の整備を行政機関と一緒に進め、安全安心の町づくりの推進を図ります。 |
| つながる | 知る | <ul style="list-style-type: none"> ● 連合町内会や地区社協の催しや活動内容を効果的に伝えていきます。 ● 「社協」とは何かを周知します。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 師岡地区のホームページを立ち上げました。今後運営スタッフと情報発信者の確保と育成を行います。 ● ホームページを活用し行事の予定や報告、活動内容の周知をしていきます。また、従来通り掲示板を活用する他、回覧板、広報紙を利用していきます。 <div style="text-align: center;">  <p>http://yok-morooka.jp</p> </div> |
| | 活動 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の集まる場所を確保し、住民の連携を深め、活動の充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 会館の利用申込方法をホームページから行なえるよう検討し、会館の利用率と利便性の向上を図ります。 ● シニア向け情報機器活用講座を行って興味を喚起し、また、男性の活躍の場を提供する等、男性の地域への参画や持っている知識の活用を図っていきます。 |
| とどく | 支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に援護を必要とする人を把握するとともに、いっとき避難場所の機能の充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 24年度に立ち上げた「チーム(町内会)ささえあい♥」という要援護者の見守り隊を町内会ごとに組織し活動します。 ● 地域で要援護者を日常的に見守っていくことの大切さを周知します。 ● いっとき避難場所での避難訓練内容の充実を図ります。 ● トレッサ横浜との災害時の応援協定をもとに、引き続き防災訓練などを推進していきます。 |

6 「ひっとプラン港北」師岡地区計画（「わが町師岡」）推進委員会

構成メンバー：師岡地区連合町内会

師岡地区社会福祉協議会

師岡地区ネットワーク

私達の町には、団体・企業・学校等、さまざまなグループがあり、地域活動を支援しています。なかでも、師岡地区連合町内会では、21の事業部が地域活動を行っています。

ここで師岡地区のネットワークとしてご紹介します。皆さんと「協働」して、「住み良い町づくり」に参加してみませんか？

民生委員児童委員

地域の情報を適切に把握し、相談に応じ、サービスの情報提供をしています。

老人クラブ

ゲートボール・グランドゴルフ・囲碁将棋・俳句・カラオケ・旅行等を行い、健康・友愛・奉仕の目標に向い努めています。

女性部

お互いの親睦を図りつつ教養を高める事を目的に活動しています。施設見学会、新年会、講習会、講演会等行っています。

青少年指導部

「青少年の健全育成」を願い、ペットボトルロケット大会、ボーリング大会、ふれあいコンサート、自然体験教室、一声かけ運動等を行っています。

ジュニアーズ

環境事業推進部

「ヨコハマ3R夢！」をスタートし、限りある資源を大切に使い、脱温暖化に向け取り組んでいます。

ひまわり

「サロン・月曜会」では四季折々の行事を取り入れ、三世代交流をはかります。他にもバザー、講習会等行っています。

交通防犯指導部

交通安全の日、交通マナーの向上・地域の交通事故防止のため、交差点での交通整理を実施しています。

ミニバスケットボール部

剣道部

消費生活推進部

エコ活動、詐欺防止活動等、区役所や警察署と協力し、行っています。

ソフトボール部

スポーツ推進部

町民のスポーツの実技指導や助言を行い、楽しさを伝えたり、より良い環境づくりに努めています。もちつき大会、グランドゴルフ大会、ペタンク等を行っています。

消防団

「小型ポンプ操法の訓練」を行い、地域の防災のため備えています。

バレーボール部

テニス部

保健活動推進部

講師の指導を受けての「ウォーキング」活動を推進しています。

家庭防災部

地域における防災活動の担い手として、防災訓練等に協力しています。

子供会育成部

子どもたちが「明るく」「健全に」育まれる様、お楽しみ会を開催しています。連合町内会の各行事に参加、協力しています。

広報部

保護司

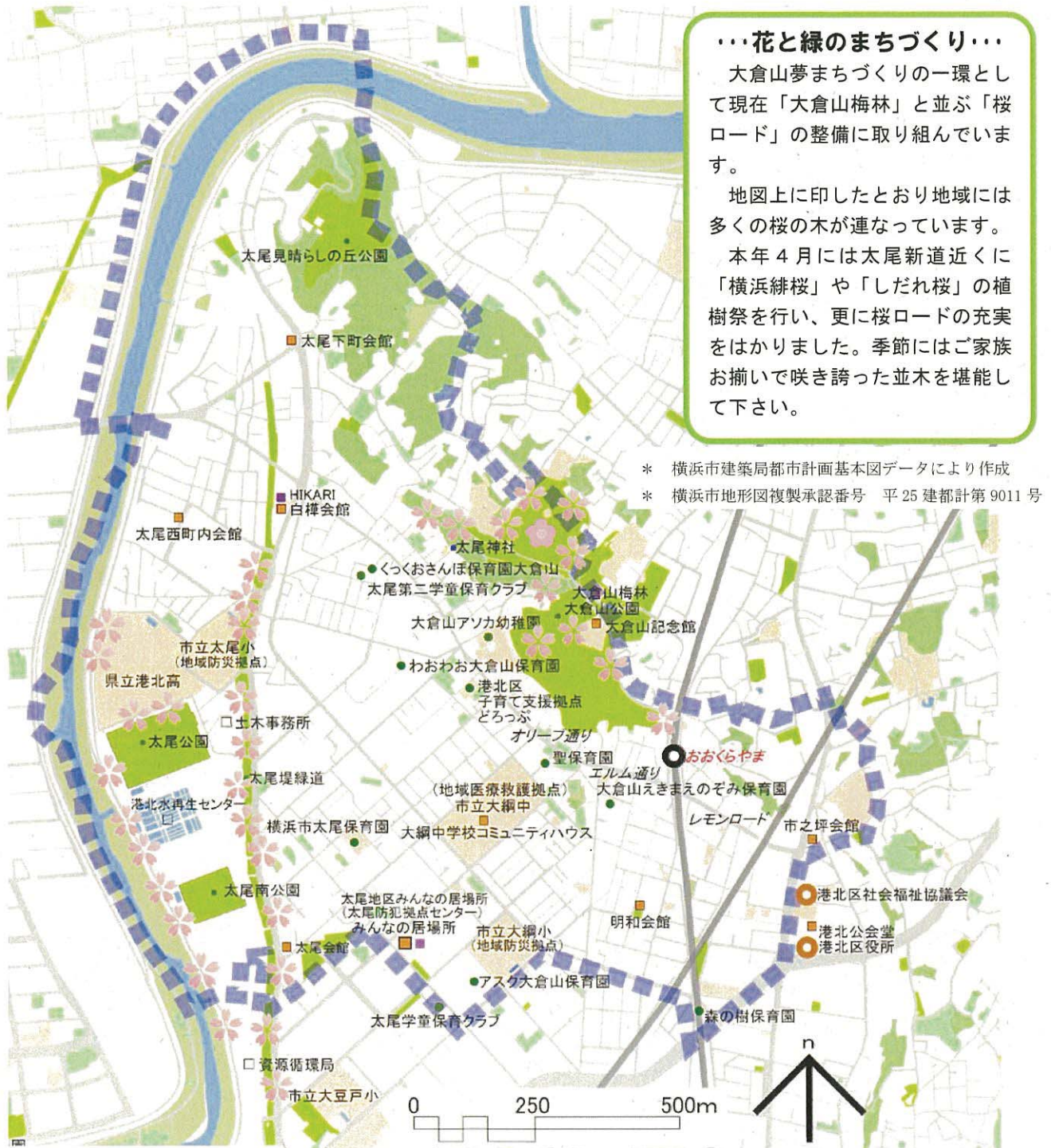
樽町中学校
師岡小学校
はまっこふれあいスクール
学童保育所
ともだちの丘

師岡地区連合町内会
打越町内会
南町内会
仲町内会
表谷町内会
師岡地区社会福祉協議会
「ひっとプラン港北」
師岡地区計画推進委員会

トレッサ横浜
コミュニティハウス

『あいの町太尾』

— ふれあい・支えあい・助けあい —



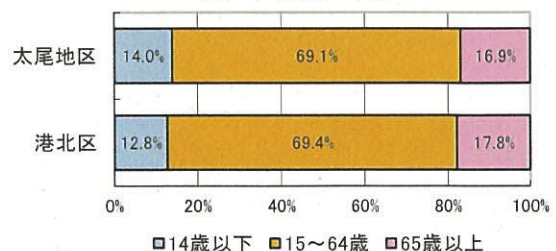
1 太尾地区の人口

太尾地区の人口と世帯数

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|---------|---------|--------|
| 太尾地区 | 11,610 | 24,610 | 2.12 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |

*平成 25 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



*「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

2 平成24年度の取り組み

私たちのまちでは、連合町会が主体で健民祭、各種スポーツ大会、シニアクラブ連合会・防犯・防災等の活動や、祭礼、盆踊り、少年少女相撲大会など種々交流事業が実施されています。

また、福祉保健の分野では太尾地区社会福祉協議会が主体で推進し、高齢者部会・青少年部会・子育て支援部会・地域健康部会・ボランティア部会・太尾ふれあいクラブ(高齢者家事援助)を運営し、加えて地域福祉保健計画推進事業として下記の活動を順次立ち上げ、継続して推進しています。

- ①地元を知ろう！太尾健康ウォーキング、②太尾支えあい祭り、③災害時に備えた要援護者の見守り支えあいの仕組みづくり、④太尾ITサロン、⑤大倉山便利マップの作成、⑥みんなの居場所の整備・活動推進、⑦大倉山夢まちづくり・・・写真で一部を紹介します。

【 高齢者部会 ・ ふれんどサロン「いこい」 】

お茶会で手指の運動



はがき絵の講習



粘土で花づくり



アコーディオンで歌唱



【 子育て支援部会 ・ 太尾っ子広場 】

七夕飾りづくり



ハロウィン



ヨーヨー釣り・水遊び



お母さんのための講座「靴育」



【 地域健康部会 ・ 地元を知ろう！健康ウォーキング 】

パタンク競技



ウォーキング 日産フィルト を歩く



ウォーキング 資源循環局を見学



グラウンドゴルフ



青少年部会 (青少年環境健全化)

防犯・子供110番の家総会



【 ボランティア部会 】

口腔健康講座



健康体操



健康体操



太尾ふれあいクラブ (高齢者への家事支援)

防犯マップ・パトロール



草取り



掃除



草刈り



太尾支えあい祭り

会場入口



子供の木工教室（踏み台作り）



伝承遊び（折り紙・バルーン）



花と野菜の朝市



もちつき



健康チェック・相談



資源ごみの分別ゲーム



会場風景



大倉山夢まちづくり（桜まつり）

第2回さくらまつり「桜植樹祭」



太尾緑道の桜並木



大倉山記念館坂の桜

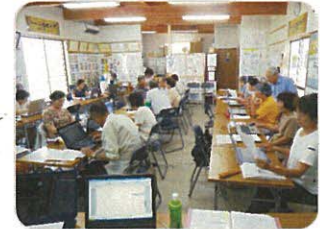


鶴見川土手（ホケツバノ）の桜



太尾ITサロン

楽しいパソコン教室



疑問点は個々に指導



3 平成25年度の取り組み

従来から取り組んできた活動内容について広く意見を交換し、今年度の重点取り組み事項を次のとおりとしました。

- (1) 各部会とも、年間幾つかの新しいメニューを取り込んで活動しているが、今年度も住民の要望を把握しつつ事業を進めていく。更に今年から地域の団体と協働で「元気づくりステーション」を立ち上げ高齢者を中心とした健康づくりに取り組む。
- (2) 地域の施設や団体との支援・協力関係を密にして連携を強化し、より良い活動を行う。
 - ・ 港北区子育て支援拠点どろっぷ、保育園等との連携を密にし、子育てを支援する。
 - ・ 障害者就労施設への協力、障がい者に対する支援の方策について検討していく。
 - ・ ケアプラザ、土木事務所、資源循環局などとの共催事業により、地域環境の改善を検討。
- (3) 「大倉山夢まちづくり」では、今年第3回になる桜まつりをはじめ“花と緑のまちづくり”に重点をおいて活動しており、連合町会・商店街・地区社協等が協働で推進する。
注) 桜まつりは、商店街のスタンプラリーと併せて開催している
- (4) 一人暮らしの高齢の方の見守りを推進する。（民生委員活動及び区役所からの要援護者名簿をもとに日頃から安否確認の訪問を行い災害時に備えていく。

推進委員の構成

・ 太尾地区連合町会 ・ 太尾地区社会福祉協議会 ・ 太尾地区民生委員児童委員協議会

太尾地区 地域活動の概要

<太尾連合町会>

- ①. 健民祭
 - ②. シニアクラブ連合
 - ・クラブ(8団体)毎の活動
 - 敬老会、茶話会、お花見、健康体操等
 - ・グラウンドゴルフ
 - ・カラオケ大会
 - ・バス旅行
 - ③. 防犯連絡協議会
 - ・子ども110番の家
 - ・防犯研修会
 - ・防犯マップづくり
 - ・防犯キャンペーン
 - ・青パトによる巡回
 - ④. スポーツ推進委員協議会
 - ・ソフトボール大会
 - ・ソフトバレー大会
 - ・駅伝大会(走ろう会)
 - ⑤. 青少年指導員協議会
 - ・ペットボトルロケット大会
 - ・サマーデイキャンプ
 - ・防犯パトロール
 - ⑥. 太尾神社例大祭
 - ・演芸、神輿、山車
 - ⑦. 子どもと親の盆踊り
 - ⑧. 太尾消防団活動
 - ⑨. 大綱中、地域医療救護拠点
 - ⑩. 大綱、太尾小地域防災拠点
- <消費生活推進委員会>
- ・研修&エコ製品づくり、等
- <保健活動推進委員会>
- ・介護予防、健康づくり等
- <環境事業推進委員会>
- <家庭防災員>
- <その他活動>
- ・太尾少年少女相撲大会

<大倉山夢まちづくり>

- ① 連合町会、商店街等が合同で立ち上げ(H22.6.24)
- ② 大倉山記念館、梅林まわりの案内看板等を整備した
- ③ 現在、桜の植樹・桜まつりの開催を推進中

<港北区役所> 福祉保健センター・地域振興課、等

<太尾地区民生委員児童委員協議会>

- ・災害時における要援護者の安否確認一見守り訪問
- ・75歳以上ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」(横浜市 H24~)

地域住民全般



- ・新旧住民の交流
- ・異世代間住民の交流

太尾防犯拠点センター
(みんなの居場所)

港北高校
大綱中学校
大綱小学校
太尾小学校

学校関係

大綱中コミュニティハウス

太尾学童保育クラブ

学童保育クラブ

太尾第二学童保育クラブ

子育て支援拠点どろっぶ
アソカ幼稚園
(太尾保育園)
(おおくらやまえきまのぞみ保育園)

子育て支援施設

(くっおさんぽ保育園)
(聖保育園)
(森の樹保育園)
(アスク大倉山保育園)
(わおわお大倉山保育園)

わーくす太尾
HIKARI
K・すべーす

障害者施設

<地域福祉保健計画推進委員会>

港北区地域福祉保健計画推進事業 (H18.4~)

ひっとプラン地区別計画:『あいの町太尾』

- ・地元を知ろう! 太尾健康ウォーキング
- ・太尾支えあい祭り
- ・災害時における要援護者の見守り支えあい仕組みづくり
- ・太尾ITサロン
- ・大倉山便利マップの作成

<元気づくりステーション事業>

- ① 地区社協が推進母体として実施(H25.4~)
- ② ボランティア部会、保健活動推進員、高齢者部会、シニアクラブの活動の中で取り組んでいく

<港北区社会福祉協議会>

<太尾地区社会福祉協議会>

<社協・部会活動の概略>

- ア. 高齢者部会
- ・一人暮らし高齢者のお茶とお話しの会
 - ・太尾フレンドサロン「いいい」
70歳以上高齢者世帯等対象のサロン
- イ. 青少年部会
- ・青少年環境健全化活動
- ウ. 子育て支援部会、太尾っ子広場
- <未就園児童と保護者を対象にしたサロン>
- ・七夕飾りづくり、クリスマスリースづくり、親子でリズム体操、等 (年10回開催)
 - ・母親のための育児教育(幼児の躾育、救急処置)勉強の間、スタッフが児童の保育を担当
- エ. 地域健康部会
- ・囲碁、将棋を楽しむ会
 - ・グラウンドゴルフ交流会(春・秋)
 - ・ペタンク交流会
 - ・ウォーキングの集い
- オ. ボランティア部会
- ・福祉講座(介護・認知症予防、口腔ケア等)
 - ・健康体操(はまちゃん体操等)
 - ・体力向上プログラム
 - ・障がい者・施設に対する支援に取組中
- カ. 太尾ふれあいクラブ(家事援助等)
- ・買い物、掃除、洗濯、草取り、枝払い、ゴミ出し、見守り・声かけ、パソコン指導、等
 - ・担い手の発掘、増員計画推進中
- キ. みんなの居場所の活動支援
- ・支えあい祭り、ウォーキング、ペタンク、グラウンドゴルフ、等
 - ・福祉相談、防犯相談、等
 - ・ボランティア活動(エコ畑、各種教室、等)
 - ・異世代交流(囲碁、将棋他)
 - ・研修会、各種会議
 - ・どろっぶ、わーくす太尾、子ども達等が利用

A. 学校関係の地域活動

- ・学家地連活動への参加
- ・ふれあい給食会への参加
- ・学援隊活動への参加

B. 「3R夢ふれあいフェスタ」への協賛

C. 子育て支援「どろっぶデー」への協力

D. ケアプラザ「わくわく祭り」への協賛

<大豆戸地域ケアプラザ>

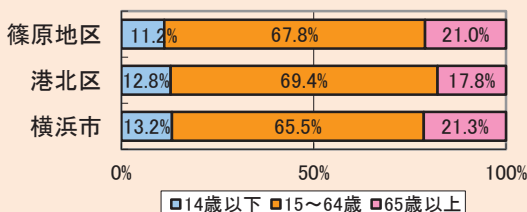
わがまち篠原



篠原地区は、菊名・富士塚・篠原町・篠原西町・仲手原・篠原台町・篠原東の7つの町に分かれており、12の自治会があります。人口は区内でも3番目に多く、約3万5千人の方が暮らしています。地区の東部に東急東横線、北部に横浜線、西部に市営地下鉄の駅があり、特に横浜の陸の玄関、新横浜駅に隣接しているなど、交通の便が良い地区です。

土地は起伏に富み、細い道も多いですが、緑が多く、環境の良いところが自慢です。ボランティア活動も盛んで、地域での子育て支援、高齢化への対応など取り組みが活発です。現在は、担い手を増やす取り組みや様々な活動を行っている多くの団体をつなぐ取り組みを行っており、特に若い人や、男性が参加しやすい環境づくりを検討しています。

年齢3区分別人口構成



世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
| 篠原地区 | 17,492 | 35,408 | 2.02 |
| 港北区 | 158,507 | 327,279 | 2.06 |
| 横浜市 | 1,707,980 | 3,702,388 | 2.17 |

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

これまでの取り組み

篠原地区では、自治会やボランティア団体によって、各自治会館でのミニデイサービス、育児サークルなど、さまざまな福祉活動が古くから行われていました。平成18年度から始まった「わがまち篠原」は、それらの活動をさらに充実させ、また、地域住民が活動団体の枠を超えて安全で安心して暮らせるまちを作るため、「交流」「ボランティア」「安全・安心」「相談・情報(ホームページ)」という4つのテーマで分科会を組織し、活動しています。



<昼食会>



<子育てサロン「らっこ」>

～しのはら地区の活動イメージ～

ミニデイサービス

菊名南(ひな菊)・富士塚(いこいの会)
篠原東(いこいの集い)・仲手原(みちくさの会)
仲手原南(夢クラブ)・篠原町(お茶の間)
篠原西町(西町のつどい)・篠原台町(みどりの会)
篠原コポラス、篠原町グランドコポ(なごみ会)

ひとり暮らし
昼食会

子育てサロン
「らっこ」

わがまち篠原

| | |
|----------|-----------|
| 交流分科会 | ボランティア分科会 |
| 安全・安心分科会 | ホームページ分科会 |

コーヒーフレンド
「しのはら」

公園遊び・サロン
しのはらランド

<しのはら人生一服亭>



お茶のみサロン
しのはら人生一服亭

ボランティア相談
しのはら相談室



<公園遊び・サロン「しのはらランド」>

～4つの分科会の活動～

交流

障がい児余暇支援事業の立ち上げにむけて、**学習会や施設見学等**を行ったり、子どもたちの余暇の過ごし方や事業への期待を、近隣小中学校の先生にお聞きしたりしてきました。平成25年2月に、第1回目の事業として、4人のお子さんと一緒に**パンケーキ作り**を行いました。

事業の名称も、友と共に生きるという願いを込めて「**とも・とも篠原**」に決定しました。お手伝いのボランティアも募集中！



<とも・とも篠原当日の様子>



ボランティア

“啓発から具体的な行動へ”をモットーに活動しています。

ボランティアへの希望や、ボランティア活動への参加意向についてのアンケート調査をもとに、文化祭でのパネル展示や住民向けの講座を実施してきました。

24年度は、障がい者の外出や通学支援をテーマにした講座を開催し、その後のみどり養護学校への見学会で理解を深めました。



＜住民向け講座の様子＞



安全・安心

富士塚自治会において、災害マップ委員会を立ち上げ、町内にお住まいの災害時の要援護者を把握する活動を行うとともに、富士塚ささえ隊（要援護者を支援するボランティア隊）を結成しました。

さらに、要援護者全員に安心カードを配布して緊急時に備えてもらうと同時に、防災訓練の時に安否確認の訓練を実施しました。日頃から要援護者と支援者が顔の見える関係をつくっていくことが災害時に生きると考えています。



＜安心カードと訓練の様子＞



ホームページ

わがまち篠原（ホームページ）を立ち上げ、毎月2回の更新を行っています。

写真や動画を数多く掲載して見やすくする工夫を行い、アクセス数も増加してきました。

行事日程や報告、地域団体やサークルの活動の様子が掲載されることにより、地域の活動が活発になるなど、地域のホームページとしての目的を追求しています。

活動の様子を取材してくれる
しポーター募集中！！

わがまち篠原

検索

ぜひ一度、ホームページをご覧ください！「わがまち篠原」で検索☆

＜ホームページURLのQRコード＞



これから目指していく姿

安全で安心して暮らせるまち

ひとりひとりがつくる 篠原

子どもも大人もいきいき 篠原

みんなで声をかけ合う 篠原

わたしたちのまちの取り組み

篠原地区では、日々、さまざまな活動が活発に行われています。これからの「わがまち篠原」は、連合自治会や地区社会福祉協議会、各種団体と協力し、お互いの活動をひろげ、ネットワークをつくっていきます。

そのため「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）を柱として、つぎのような具体策を掲げます。

| キーワード | 取 り 組 み | | |
|-------|---------|--|---|
| | 目 標 | 具 体 策 | |
| ひろがる | 理解 | <ul style="list-style-type: none"> ●子育てサークルと地域ミニデイとの交流を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の状況に応じて、可能な開催方法を検討します。 ・開催場所を検討し、増やします。 |
| | 担い手 | <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアの交流を図り、新たなボランティアの可能性を広げます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きボランティア講座を実施します。 ・男性ボランティアや、高校生のボランティアなどを増やします。 |
| つながる | 知る | <ul style="list-style-type: none"> ●障がい児の居場所づくりを行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の居場所「とも・とも篠原」の定期開催を目指します。 ・障がい児への理解を深め、担い手の育成を図ります。 |
| | 活動 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動の更なるネットワーク化を検討します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会や各団体の活動を尊重し、ボランティアの交流や、連絡協議会の設置など、横の連携を検討します。 |
| とどく | 情報 | <ul style="list-style-type: none"> ●ホームページを活用します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体やサークルの活動予定や活動報告を紹介します。 ・レポーターを探します。 ・情報量を増やし、充実させます。 |
| | 早期発見 | <ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全のため、要支援者を把握し、非常時のための支援活動を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時のあんしんカードを検討し、1地区で具体的な形にします。 |

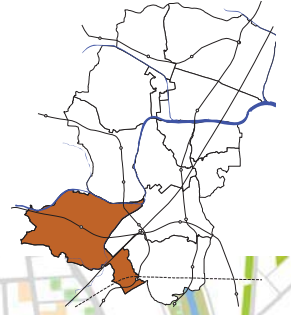
振り返りの仕方

篠原地区地域福祉保健計画推進委員会にて、定期的に活動を振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証します。あわせて目標と具体策に沿って進捗管理・推進を行います。各分科会を概ね2～3か月に1回開催し、年度末に活動報告会を開催します。

発行 「わがまち篠原」推進委員会 委員長 川島武俊(篠原地区連合自治会長)

問合せ先：港北区福祉保健課(☎540-2360) 港北区社会福祉協議会(☎547-2324)

たすけあうまち城郷



* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
 * 横浜市地形図複製承認番号 平 25 建都計第 9011 号

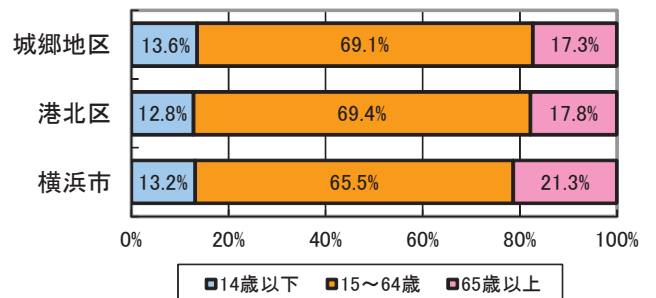
◆ 城郷地区の人口

世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 城郷地区 | 10,727 | 23,417 | 2.18 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |
| 横浜市 | 1,698,744 | 3,704,046 | 2.18 |

*平成 25 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



※「ひとつプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

1. わたしたちのまちの特色

城郷地区は、小机町・鳥山町・岸根町からなり、9つの自治会町内会があります。鉄道駅は、横浜線小机駅と市営地下鉄岸根公園駅があり、新横浜公園、岸根公園、小机城址市民の森、日産スタジアム、横浜労災病院、横浜ラポール、城郷小机地区センター、城郷小机地域ケアプラザなどが点在し、環境や施設などの資源に恵まれています。

現在の人口は約23,400人で、約10,700世帯が住み、昨年より若干減少しましたが、年々少しずつ増える傾向にあります。年少人口比率は13.6%と区の平均より高く、高齢化率は17.3%と区の平均並みとなっており、子育て支援と並行して高齢化への対応が徐々に大きな課題になりつつあります。

小机町と岸根町を中心に、子育て中の新住民の増加が目立ち、新旧住民の相互交流が必要になっているとともに、子育て支援や高齢者のミニデイ、障がい者との交流、見守り活動等といったボランティア活動の担い手拡大や各福祉保健活動が連携していく必要性が強まっています。



子育てサロン



小机城址まつり



城郷小机地域ケアプラザ
城郷小机地区センター

2. これまでの取り組み

◆第1期計画



◆第2期計画

ひっとプラン港北「たすけあうまち城郷」
平成23年度より始動・・・！！

「交流」の取り組み

- ① 城郷小机地域ケアプラザによる情報の発信機能強化
- ② 「しろさと地区放課後プラザ」設置
- ③ 「ホッとカフェ」の開設
- ④ 「城郷ひろば」「ふれあい昼食会」「城郷よってこ会」の活動
- ⑤ 転倒予防体操や健康体操などのグループ活動
- ⑥ 家事支援ボランティア「城郷ふれあいの会」の活動

「情報・相談」の取り組み

- ① 『ふくしの城郷』『城郷福祉の伝言板』等の発行
- ② 家庭用緊急カードの全戸配布
- ③ 地区民生委員児童委員協議会による子育てサロンの開催

「ボランティア・担い手」の取り組み

- ① 多くのボランティアが登録し、活動が定着
- ② 自治会町内会によるチラシの配布や掲示板募集案内

4つの活動目標

- ① 城郷よってこ会の地域展開
- ② 城郷地区ボランティア連絡会の設立と取り組み
- ③ しろさと地区放課後プラザの支援
- ④ ホッとカフェへの地域支援

関係者の頑張りや地域の理解と協力により、着実に成果をあげつつあります。

一方では、城郷地区支えあい連絡会が「城郷地区見守りネットワーク構築支援事業」を取り進めており、各自治会町内会の特色を生かした「見守り活動」が地域に定着しつつあります。

3. これから目指していく姿

地域みんなが「たすけあうまち城郷」を合言葉に、「ひっとプラン」の基本理念である「誰もが安心して暮らせる城郷」の実現を目指していきます。

- (1) みんなが世代や立場を越えて『交流するまち城郷』の実現
- (2) 必要な情報が伝わり、相談しやすい『安心のまち城郷』の実現
- (3) 助け合いや支援の輪が『とどくまち城郷』の実現
- (4) 担い手が広がり、活動が『つながるまち城郷』の実現

4. わたしたちのまちの取り組み

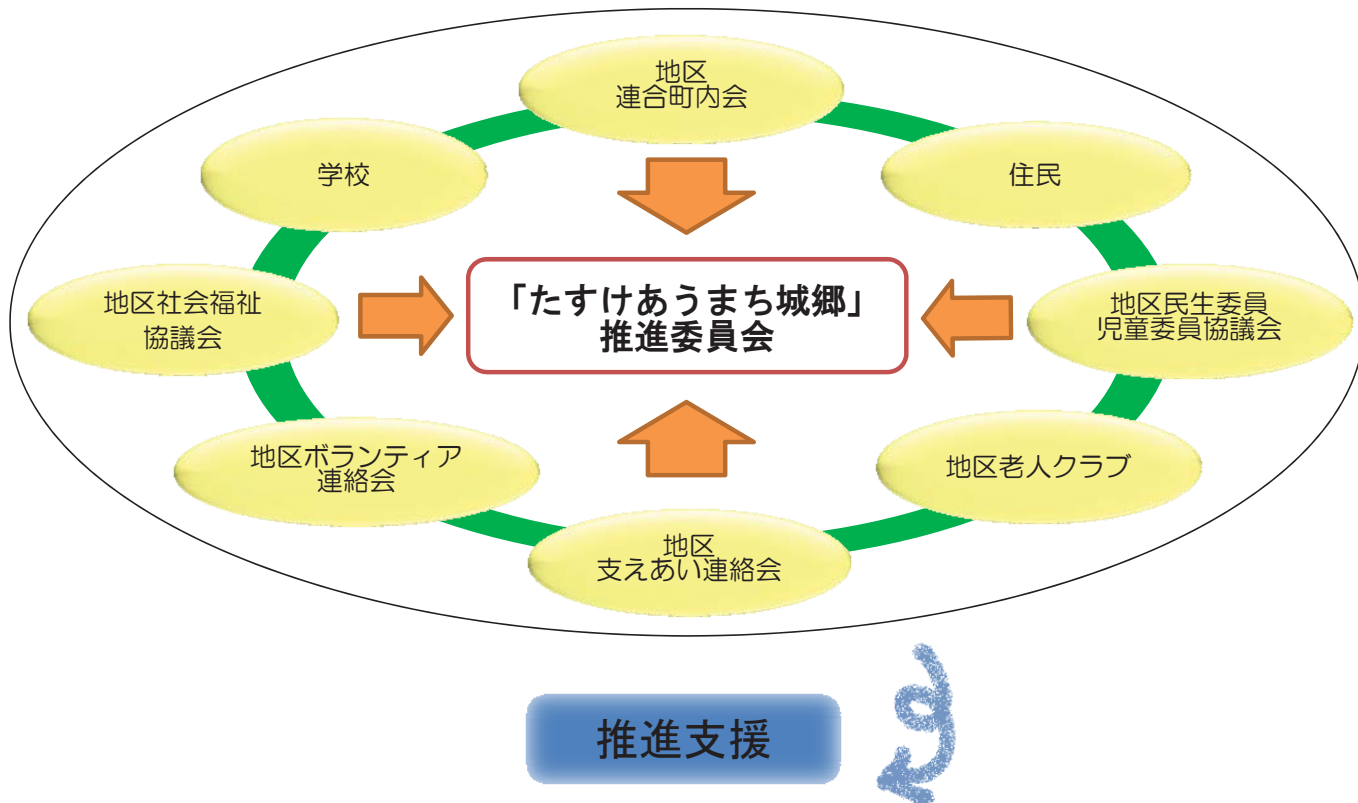
| キーワード | 取り組み | |
|-------|--------|--|
| | 目標 | 具体策 |
| ひろがる | 理解 | <p>●自治会町内会活動との連携強化</p> <p>○地区連合町内会長会議への適切な依頼・報告による理解の促進</p> |
| | 担い手 | <p>●城郷地区ボランティア連絡会の取り組み</p> <p>各自治会町内会及び各テーマで活動するボランティアグループが協働して、担い手問題等に取り組む。</p>  <p>○理事会を定期的開催する ○ボランティア団体相互の情報交換を密にする ※情報交換の中から必要に応じて以下の事柄にも取り組む ○ボランティア相互の交流を図る ○担い手育成のための講座を開催する</p> |
| つながる | 町や人を知る | <p>●地区社会福祉協議会活動を通じた、地域福祉保健活動のネットワーク化の推進</p> <p>○現状把握と対応策の検討</p> |
| | 活動 | <p>●ホッとカフェへの地域支援</p> <p>※みんなの居場所 = 誰もが集える交流の場作りを支援する事業</p>  <p>地域との関わり強化</p> <p>○施設の地域開放利用の促進 (掲示板へのチラシの掲示、リーフレットの回覧など) ○地域の集まりや交流事業への参加 (運営するお母さんによる地域との関係づくり)</p> |
| とどく | 支援 | <p>●城郷よってこ会の地域開催</p> <p>毎月行う高齢者サロン「城郷よってこ会」を開催場所(自治会町内会単位)の状況に合わせ、さまざまな形で実施。</p>  <p>○自治会町内会の状況に応じて、可能な開催方法を検討 (城郷よってこ会・自治会町内会と連携) ○開催場所の検討・確保 (町内会館・公民館・ホッとカフェ等)</p> |
| | | <p>●しろさと地区放課後プラザの支援</p> <p>ダウン症・自閉症等の発達障がいのある子どもの居場所事業。事業の拡大及び開催頻度の拡大。</p> <p>○学校との連携方法の検討 ○年間を通じて定員の確保 ○開催回数の増加</p> |
| | 発見 早期 | <p>●見守り活動定着化への支援</p> <p>○各自治会町内会の特色に応じた活動を展開する。</p> |

5. ふり返りの仕方

「たすけあうまち城郷」推進委員会が、1年ごとに活動をふり返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証する司令塔的な役割を果たします。

平成25年度からは、従来からの4つの取り組みに新たに2項目を加え、合わせて6つの取り組みごとに、リーダーを中心として推進、検証を進めます。

【計画推進体制】



「誰もが安心して暮らせるまち城郷の実現」

＜平成25年度からの6つの取り組み＞

- 城郷よってこ会の地域展開
- しろさと地区放課後プラザへの支援
- 自治会町内会との連携強化
- ボランティア連絡会の取り組み
- ホットカフェへの地域支援
- 見守り活動定着への支援

新規

新規

6. 活動風景（写真）



城郷ふれあいの会の活動



小学生向け見守り講演会



しろさと地区放課後プラザの活動

「たすけあうまち城郷」推進委員会発行

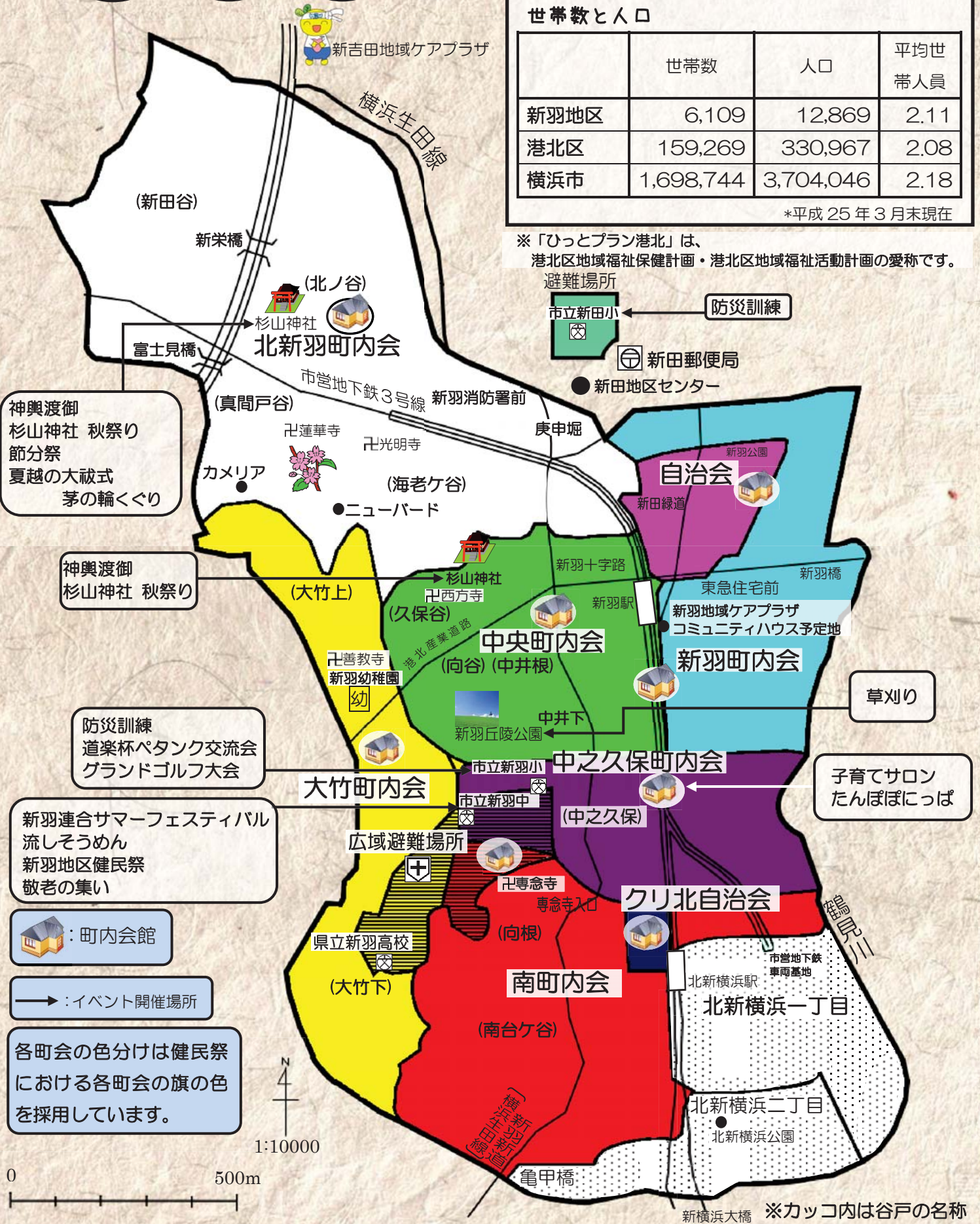
和輪話のまちにっば

世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 新羽地区 | 6,109 | 12,869 | 2.11 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |
| 横浜市 | 1,698,744 | 3,704,046 | 2.18 |

*平成25年3月末現在

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。



神輿渡御
杉山神社 秋祭り
節分祭
夏越の大祓式
茅の輪くぐり

神輿渡御
杉山神社 秋祭り

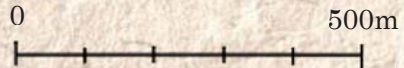
防災訓練
道楽杯パタンク交流会
グランドゴルフ大会

新羽連合サマーフェスティバル
流しそうめん
新羽地区健民祭
敬老の集い

: 町内会館

: イベント開催場所

各町会の色分けは健民祭における各町会の旗の色を採用しています。



※カッコ内は谷戸の名称

※これまでの取り組み

この2年間を振り返って、本当に良かったと思うことは、地域ケアプラザ・コミュニティハウスが合築で建設されることです。建設に至ったのは行政・地域が一体となって取り組んできた成果です。長年の地域住民の願いが叶い、万感胸に迫るものがありますが、地域の福祉保健活動がさらに活発になるよう進めていくことが大事だと考えております。

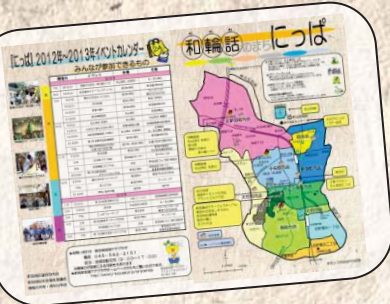
「ひとつプラン港北」新羽地区計画では

1) 異世代交流分科会 2) 情報の共有分科会 3) 町を知る分科会

という3つの分科会を中心に、それぞれの計画に沿った活動を進め成果を上げてきました。3年目を迎え、さらに充実した活動になるよう取り組みを進めます。

◎町を知る分科会

- ・町の散策コースを決め、他の分科会と共同で散策を実施します。
- ・新羽町内の道祖神めぐりを行い、町の歴史を学んだりしています。皆様の参加を期待しています。



◎異世代交流分科会

平成23～24年度の活動を踏まえ、9月の「新羽町合同敬老の集い」、秋の「ひとつウォーキング」を継続して実施していきます。より多くの世代の人たちが楽しく交流できる場を、他団体の協力を得て提供していきたいと思ひます。また、地域既存のグループをサポートし、異世代間の交流をさらに活発化したいと思ひます。

◎情報の共有・周知分科会

『「ひとつ」2012～2013年イベントカレンダー』を作成し、町内会員宅に全戸配布しました。転入者向けには掲示や不動産会社を通して配布しました。また、「アンケート」を取って集約した町のニーズを「カレンダー」に反映させます。今後もこの取組を継続して参ります。

～地域のイベント写真～



新羽地区健民祭



新羽連合
サマーフェスティバル



防災訓練



パワーアップにっば
ウォーキング



たんぽぽにっば

※これから目指していく姿

新羽地区 6,109世帯の絆をより強くし、「思いやりと花と緑のまちづくり」のために、次の4点を基本テーマとして、地域福祉の取り組みを進めます。

- (1) 災害時に援護が必要な人の把握を進め、より充実した活動にしていく。
- (2) 地域の福祉活動の情報の共有や周知の徹底を図る。
- (3) 異世代交流を、より活発にしていく。
- (4) 「新羽」の町を知る活動を進める。

※わたしたちの町の取り組み

| | | 取り組み | |
|------|----------|--|--|
| | | 目標 | 具体策 |
| ひろがる | 異世代交流 | ①地域にある活動グループの周知 ②役員相互の連絡協力ができる体制づくり ③趣味等の同好会、クラブなどの掘り起こし | ①町会定例会で、役員にお願いする ②グループに窓口をつくり、その団体の連絡網を活用して情報を伝える ③町会を通じて聞き取り調査をする |
| | 町を知る | ①町を愛してもらう、町の現状を知る、町の地理を知る ②町内会各役員（地区社協評議員）及び有志を中心に担い手を確保する | ①住民に見どころの多い「にっば」をPRする |
| | 情報の共有・周知 | ①人材募集のPRの仕方を工夫し、60歳以上の人達にも活躍してもらう | ①町内会役員会等、各種委員会にてPRする |
| つながる | 異世代交流 | ①様々な世代が参加して町を歩き、町を知る ②青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会の三本柱の強化 ③グループの催し物などに他のグループが参加し、協力するようにする ④「ガッツにっば」の活動の活発化 | ①「パワーアップにっば」と老人会がハイキングを計画する ②青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会の活用を図る。 ③「竹の子にっば」の芋煮会に「たんぼぼにっば」が参加し、「たんぼぼにっば」を老人会が手伝う ④様々な世代が参加できる流しそうめんなどの催し物を定例化する |
| | 町を知る | ①名所を巡るとともに、福祉施設や避難場所を覚える ②様々な世代が利用できる山間部と緑道の散策ルートをつくる | ①ハイキング、ウォーキングのルートや見所のマップづくり |
| | 情報の共有・周知 | ①青少年指導員、スポーツ推進委員、町会、子ども会、民生委員児童委員、ボランティア団体それぞれの活動をつなげる ②小中学校との連携 | ①各団体と連携して、新羽地区の催し物カレンダーを作って配布する ②学校・家庭・地域連絡協議会に積極的に参加する |
| とどく | 異世代交流 | ①地域の年間行事予定をつくる | ①各種団体が年間計画を出し合い、年間行事計画をつくり、掲示板等に掲示する |
| | 町を知る | ①野菜や果物を直販しているところを知りたい、伝えたい ②鶴見川周辺にある資源をいかす | ①マップをつくり、個人でも楽しめるようにする ②年2回程度ウォーキングを開催する ③鶴見川周辺でコスモスの植栽、ホテルの飛べる環境の再生、10万本のチューリップ畑づくりなどを進める |
| | 情報の共有・周知 | ①すべての人にすべての情報を届けるのではなく、必要な人に必要な情報が届くようにする ②老人会や敬老会行事を通じて高齢者や独居者の情報把握を進める。行政との連携も進める | ①町会未加入者に対してもPRできるように掲示板を増設し積極的に活用する ②パワーアップにっば、老人会、民生委員から情報を得る |

『にっば』2013年~2014年イベントカレンダー

みんなが参加できるもの



| 開催日 | | イベント | 会場 | 主催 | |
|-------|--------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 2013年 | | | | | |
| 夏 | 7月 | 24日(水) | 夏越の大祓式 茅の輪くぐり | 杉山神社(北新羽) 北・杉山神社 | |
| | 8月 | 17日(土) | 新羽連合 サマーフェスティバル | 新羽中学校 新羽町連合町内会 | |
| | 9月 | 8日(日) | 流しそうめん | 新羽中学校 | ガッツにっば |
| | | 15日(日) | 敬老の集い | 新羽中学校 | 新羽町連合町内会 新羽地区社協 異世代交流分科会 |
| | | 29日(日) | 新羽神輿渡御 | 杉山神社 | 新羽神輿会 |
| 秋 | 10月 | 6日(日) | 杉山神社 秋祭り | 杉山神社 奉賛会 | |
| | | 13日(日) | 北新羽神輿渡御・秋祭り | 杉山神社(北新羽) 北・杉山神社 奉賛会 北神輿会 | |
| | 19日(土) | ふるさと港北 ふれあい祭り | 新横浜駅前公園 | ふるさと港北ふれあい まつり実行委員会 | |
| | 20日(日) | 第40回新羽地区健民祭 | 新羽中学校 | 新羽町連合町内会 | |
| | 下旬 | 「横浜市無形民俗文化財」 注連引き大蛇百万遍 | 新羽小学校 西方寺 | 注連引き大蛇百万遍 保存会 | |
| 冬 | 11月 | 2日(土) | 防災訓練 | 新羽小学校 新羽小学校区 防災拠点運営委員会 | |
| | | 6日(水) | 新羽親睦ゴルフ大会 | 千葉方面 新羽親睦ゴルフ会 実行委員会 | |
| | 10日(日) | 防災訓練 | 新田小学校 新田小学校区 防災拠点運営委員会 | | |
| | 24日(日) | 第17回 グランドゴルフ大会 | 新羽小学校 新羽地区スポーツ 推進委員連絡協議会 | | |
| | 下旬 | 異世代交流ウォーキング | 新羽町内 異世代交流分科会 | | |
| 12月 | 31日(火) | 年越し除夜の鐘 | 西方寺 西方寺 | | |
| 2014年 | | | | | |
| 春 | 1月 | 12日(日) | 第29回 港北駅伝大会 | 小机フィールド 港北駅伝大会 実行委員会 | |
| | 2月 | 3日(月) | 節分祭 | 杉山神社(北新羽) 北・杉山神社 | |
| | 3月 | 下旬 | パワーアップにっば ウォーキング | 新羽町内 パワーアップ にっば | |
| | 4月 | 月上旬 | 第5回 道楽杯パタंक交流会 | 新羽小学校 ガッツにっば | |
| | | 未定 | 新羽親睦ゴルフ大会 | 未定 新羽親睦ゴルフ会 実行委員会 | |
| 5月 | 下旬 | 第19回 新羽地区パタंक大会 | 新羽小学校 新羽地区スポーツ 推進委員連絡協議会 | | |



夏越の大祓式
茅の輪くぐり



新羽連合
サマーフェスティバル



敬老のつどい



新羽神輿渡御

新羽町連合町内会
新羽地区社会福祉協議会
情報の共有・周知分科会

★イベントカレンダーのお問い合わせ 新吉田地域ケアプラザ
電話 045-592-2151 担当:地域活動交流(9:00~17:00)
★新吉田地域ケアプラザホームページからもご覧いただけます。
ホームページ URL: <http://www.y-kyousei.or.jp/sinyoshida/>



いっいな！みんなのまち

新吉田

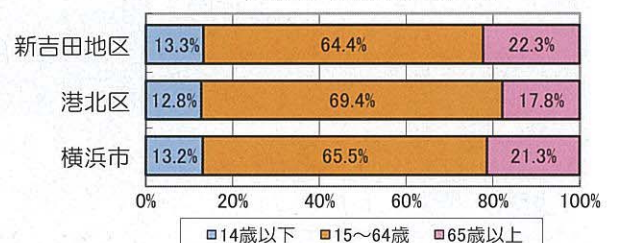


世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|-------|-----------|-----------|--------|
| 新吉田地区 | 8,143 | 18,366 | 2.26 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |
| 横浜市 | 1,698,744 | 3,704,046 | 2.18 |

*平成25年3月末現在

年齢3区分別人口構成



「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

取り組みの進め方



取り組みの方向にあげた3つの柱に沿って取り組んでいます。

活動を継続するため、次世代の担い手を確保します。

活動が相互に結びつくよう、ネットワーク化をすすめます。

取り組みの方向—3つの柱

災害時要援護者の支援

- ◆地域で独自に作成した、「支え合いカード」を、いざと言う時に活かせるよう、体制を整えていきます。
- ◆新吉田連合町内会が保有する要援護者情報の提供に関する覚書を、新吉田地域ケアプラザと締結しました。これにより、いざと言う時の支援体制作りを充実させていきます。

高齢者への支援

- ◆地域の高齢化が進む現実を捉え、「高齢部会」が立ち上がりました。徘徊高齢者の早期発見・保護を目的とする「徘徊高齢者探してネット」の構築を進めていきます。
- ◆高齢者世帯が増加しており、民生・児童委員や「ほっと新吉田」と連携して、必要な手助けができるよう支援していきます。

子育て世帯への支援

- ◆未就園児子育てサロン「よしだっこ」が立ち上がりました。益々の充実と参加しやすい環境作りを進めていきます。
- ◆親子で参加できる場を提供します。「ふれあい動物園」「親子コンサート」「畑の収穫体験会」など、地域で顔の見える活動を行っています。

1 私たちのまちは

まだまだ緑がたくさん残っていて、果樹園も多く、浜なしやぶどう、タケノコもたくさん作られています。また、高齢者や障がい者に優しい福祉保健施設が多くあり、閑静なまち並みが広がっています。

2 取り組みの成果

「支え合いカード」は、災害時要援護支援のために作成されました。ケアプラザとの覚書の締結も私たち地域活動の大きな成果です。昨年立ち上がった「よしだっこ」は年間399組815人の参加者を、のべ216人のスタッフがサポートするという結果となり、地域が一丸となって取り組んだ素晴らしい成果です。益々の充実をめざします。

新吉田地区支えあいカード 作成日 平成24年9月

| | | | | | | | | |
|-----|------|------|----|--------------|------|------|---------|----|
| 記入者 | ※お名前 | 新吉田町 | 電話 | 045-123-4567 | | | | |
| 家族名 | 続柄 | 性別 | 年齢 | 同居/別居 | 介護認定 | 障害手帳 | 要援護に該当か | |
| よしお | 世帯主 | 昭和 | 男 | 64 | 同居 | 無 | 無 | はい |
| みずき | 妻 | 昭和 | 女 | 61 | 同居 | 有 | 無 | はい |

3 今年度の取り組み

徘徊高齢者のネットワークづくりのため、「高齢部会」が立ち上がりました。地域の拠点づくりに、力を合わせて取り組みます。地域の高齢化に向けて大きな期待が寄せられています。

※「徘徊高齢者 探してネット」のしくみ
新吉田地区において徘徊高齢者を早期に発見、保護するための地域ネットワークの仕組みです。(イメージ図)



畑の収穫体験会 もみじ畑



未就園児親子が対象。広い畑で思いっきり土とふれあい、収穫の喜びをみんなで体験します。

子育てサロン「よしだっこ」 中央町内会館



毎月第2木曜日 午前開催。未就園児が対象。会館は畑の中にあり、外遊びもできて自然いっぱい。(参加無料)

地域活動拠点 ボランティアセンター やすらぎの家



新田地区センター1入口手前左側にある小さな建物です。(月・水・金 開館) 気軽に立ち寄って下さいね。

ふれあい動物園 新田公園



新田地区センター1となりの公園で毎年3月に開催する地域の大イベントは大盛況です。

私たちのまちの取り組み

| キーワード | | 取 り 組 み | |
|-------|------|---|---|
| | | 目 標 | 具 体 策 |
| ひろがる | 理解 | <ul style="list-style-type: none"> ◇徘徊高齢者への支援・理解の必要性を広める。 ◇子育て支援事業「よしだっこ」の継続支援活動の重要性を広める。 ◇ボランティアセンター「やすらぎの家」の活動とネットワークづくりを充実活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆今年度の主となる徘徊高齢者見守りネットワークの構築・対応への課題を具体化していく。 ◆「よしだっこ」の開催情報がまだ届いていないかもしれない所へ、さらなる情報の発信をしていく。 ◆「やすらぎの家」の所在を広く周知するため、看板の新たな設置を進めていく。 |
| | 担い手 | <ul style="list-style-type: none"> ◇高齢部会を組織し、ケアプラザ・区役所・区社協と連携を取る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆徘徊高齢者捜索・保護支援活動ネットワークの立ちあげを目指して、参加協力を承諾してもらった地域の協力者と、拠点づくりを進めていく。 |
| つながる | 知る | <ul style="list-style-type: none"> ◇地域で活動しているグループと情報を共有できるよう交流を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆地域活動グループに徘徊高齢者ネットワークが必要である事の理解、協力を求めていく。 |
| | 活動 | <ul style="list-style-type: none"> ◇徘徊高齢者に対し、理解・協力が得られるよう「認知症に対する講座」などを開催する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆具体的な事例を盛り込み、わかりやすい切り口で、認知症・徘徊などに対する理解を深められるような講座を開催していく。 |
| とどく | 情報 | <ul style="list-style-type: none"> ◇必要な所に情報が届けられるよう工夫する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆「やすらぎの家」をはじめ、地区センター・町内各所の掲示板へのチラシの掲示、また、各町内会班回覧などを行い情報発信していく。 |
| | 早期発見 | <ul style="list-style-type: none"> ◇地域で徘徊高齢者の早期発見の仕組みづくりを進める。 ◇一人暮らし高齢者の孤立を防ぐため、民生・児童委員との協力体制を再確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆地域ケアプラザと、徘徊高齢者や一人暮らし高齢者等の情報を共有できるよう、地域が一体となり、体制づくりを進めていく。 |

ほっと新吉田



～ご利用案内～

新吉田地域の高齢者、障害のある方、「困りごと」に「手」をお貸しします。
申込み・お問合せ；祝日を除く 月・水・金 10時～15時

◆「やすらぎの家」 ☎/FAX 045-591-6480
◆「ほっと新吉田」 ☎ 080-5408-9228
☎ 080-6602-7809

ボランティアセンターやすらぎの家

～あなたの空いている時間を誰かの為に使いませんか～

「ボランティアを求めている人」「ボランティアをしたい人」からの相談窓口として橋渡しをします。
また、地域の様々な活動交流の場としても活動しています。

☎/FAX 045-591-6480
開館日：月・水・金 10：00～15：00



「やすらぎの家」は新吉田地区社会福祉協議会和港北区社会福祉協議会協働で運営を行っています。

もっと・ホットに 「あすなる」



新吉田あすなる地区社会福祉協議会

あすなるさがしてネット

新吉田あすなる地区支え合いネットワーク会議では、認知症高齢者の徘徊(はいかい)に注目し、徘徊高齢者を地域で早期に発見、拠点やケアプラザでの一時保護を行う、地域のネットワーク作りに取り組んでいます。このネットワークを「あすなるさがしてネット」と呼びます。

ケアプラザにご連絡くださると 連絡拠点に「さがして依頼シート」を一斉FAXをします。

「徘徊かな？」と思ったらご連絡ください。

あすなるさがしてネット

～徘徊高齢者連絡所～

新吉田あすなる地区社会福祉協議会

新吉田地域ケアプラザ **592-2151**

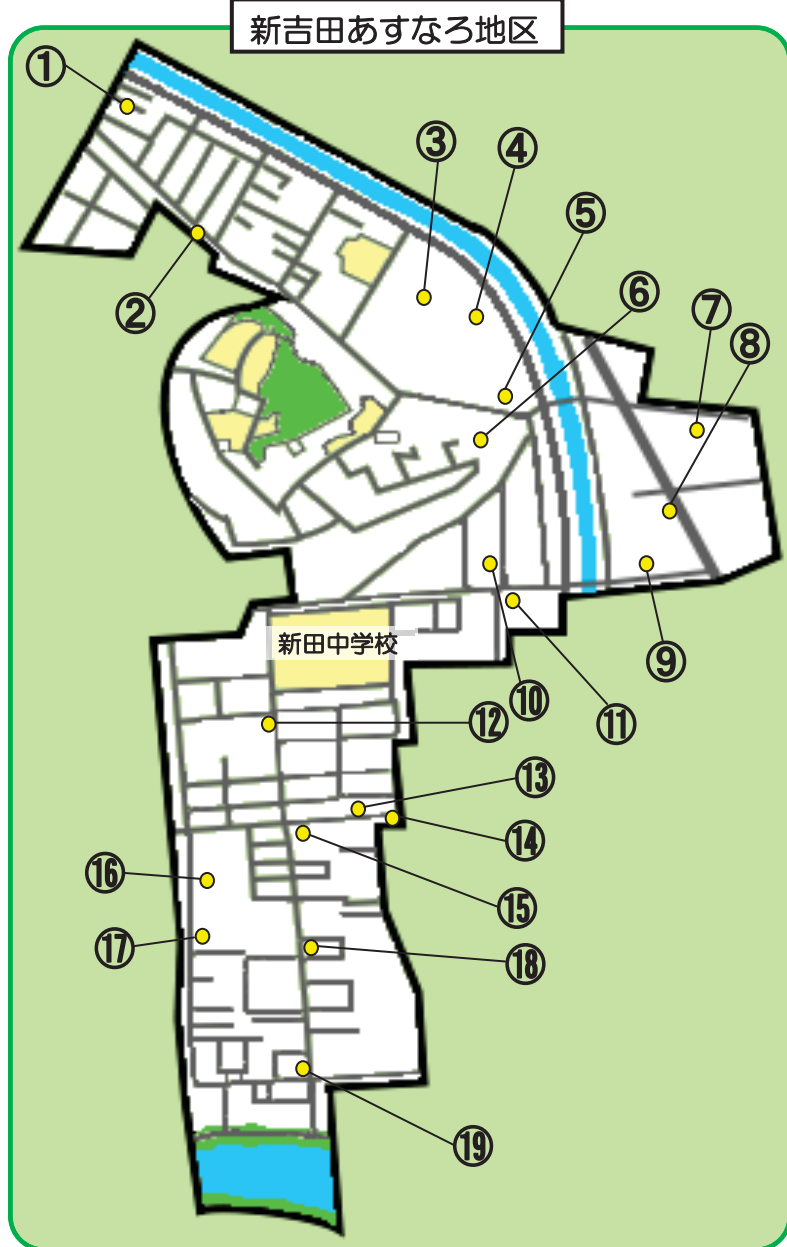
※8:45～17:00以外の時間帯は、警察署へ連絡してください。

港北警察署 **546-0110**

あすなるさがしてネット連絡拠点にはこのステッカーが貼ってあります。
あすなるさがしてネットメール配信始めました。

あすなるさがしてネットでは地域における徘徊高齢者を地域で早期に発見するための地域のネットワーク作りの拡大を目指し、メール配信システムを導入しました。地域住民の皆さまに登録していただき、認知症徘徊者で行方不明の方が出た際、その方の情報を皆さまの携帯電話にメールでお知らせいたします。登録はとても簡単！
お手持ちの携帯電話で右のQRコードを読み込んでいただいた後、空メールを送れば完了となります。

QRコード



あすなるさがしてネットとは？

徘徊高齢者の事故やけがを防ぐには、早期に発見・保護することが必要であるという考えから、地域の商店街等の連絡拠点と地域住民(町内会長・民生委員等)で構成されたネットワーク組織です。これはあすなる地区の支えあい連絡会で徘徊高齢者の事例について話し合う中で生まれました。

「あすなるさがしてネット」連絡拠点一覧

- | | | |
|-----------------|----------------|------------|
| ① 菊谷酒店 | ⑨ ホームセンターメイド | ⑰ 稲葉クリーニング |
| ② 商栄地所 | ⑩ ライネスハイム綱島吉番館 | ⑱ 寿司処 綱新 |
| ③ フォルム綱島クレストワーズ | ⑪ 吉田米店 | ⑲ 理容サロン ウダ |
| ④ イトピア綱島コンドミニウム | ⑫ フジムラクリーニング | |
| ⑤ 綱島パーク・ホームズ | ⑬ 平石クリーニング | |
| ⑥ 名取建設工業株式会社 | ⑭ 佐藤理容館 | |
| ⑦ 新田米店・クリーニング共和 | ⑮ 横浜新吉田郵便局 | |
| ⑧ みどり書房 | ⑯ グリーンコーポ綱島 | |

【あすなる地区外の拠点】
 東急バス新羽営業所
 グループホームひかり 新横浜新羽
 イオン 新吉田店
 ローヤルよつや 新吉田店

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

1 わたしたちのまちの特色

新吉田あすなろ地区連合町内会には、旧来の市街地の自治会町内会5つとマンションの自治会町内会5つ、合計10の自治会町内会があります。

住宅が増えており、昔は畑だったところがアパートやマンションになりました。また、工場の跡地もマンションになっています。もともと一軒家があった土地が空くと、そこを分割して複数の家を建てて販売をされる傾向があり、それを購入した若い世代が他の地区から転入しているようで、若い世代の比率は区の平均を上回っています。また団塊の世代も多く暮らしている地区です。

新吉田あすなろ地区は、区域としては小さく、まちづくりの担い手となる人が少ないものの、まとまりは最高と自負しており、福祉保健のまちづくりを頑張っています。

2 これまでの取り組み

当初の計画に基づいて、様々な活動を推進してきました。多様な世代が参加する福祉盆踊り大会やふれあい運動会などとともに、3大イベントである防災訓練には、障がいのある方の参加を含め年々新しいものを工夫して取り入れ、地域全体で取り組んでいます。

特に、平成21年度から「災害時要援護者支援事業」に取り組み、災害時に支援が必要な方の把握を行い、日常적인見守りや災害時の支援方法などの検討を進めてきました。

また、「あすなろさがしてネット」の活動では、徘徊高齢者の方策として、拠点の充実化や「メール配信」制度を導入しました。「ふらっとサロン」では健康体操やお茶を飲みながらためになる講話を聞くなどの内容を実施してきました。今後は、あらゆる世代の方が気軽に活動に参加できるしくみづくりと、活動の担い手の確保をすすめ、地域内での活動に対する理解を深めることを目指します。

3 これから目指していく姿

新吉田あすなろ地区のスローガンに基づき福祉保健のまちづくり活動をすすめていきます。

- (1) みんながコミュニケーションをとれるまち あすなろ
- (2) 声かけと顔の見える関係づくりのまち あすなろ
- (3) 誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち あすなろ
- (4) みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち あすなろ
- (5) 子どもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまち あすなろ

～新吉田あすなろ地区の行事～



盆踊り大会の様子



防災訓練の様子



運動会の様子

4 わたしたちのまちの取り組み

| キーワード | | 取り組み | |
|-------|------|--|---|
| | | 目 標 | 具体策 |
| ひろがる | 理解 | <ul style="list-style-type: none"> • みんながコミュニケーションをとれるまち • 声かけと顔の見える関係づくりのまち | <ul style="list-style-type: none"> • 認知症の研修会の回数を増やしたり、障がい者やその家族との交流の機会を増やす等、理解をひろげる取り組みを充実します。 • 「あすなろまつり」（グループホーム）への参加、障がい者施設の訪問・見学などを通じて、障がい者や高齢者への理解をひろげる取り組みを継続・充実します。 |
| | 担い手 | <ul style="list-style-type: none"> • みんなが交流を深めまちづくりに参加するまち | <ul style="list-style-type: none"> • 「盆踊り大会」、「お祭り広場」や「ふれあい運動会」、「防災訓練」など地域全体で取り組む交流イベント等で地域福祉保健計画の活動のPR を行い、活動の周知や担い手の確保をすすめます。 |
| つながる | 知る | <ul style="list-style-type: none"> • 子どもも大人も安心して安全に生活できる、活力あるまち | <ul style="list-style-type: none"> • 「子育てサロン」を継続する等、若い世代が安心して住める取組を進めます。 • 「一人ぐらし高齢者サロン」「シルバー健康体操」「転倒・骨折予防体操教室」などの活動を継続・充実し、生活支援の必要な高齢者、元気な高齢者の健康維持等、高齢者が安心して元気に暮らせる環境づくりをすすめます。 |
| | 活動 | | <ul style="list-style-type: none"> • 隣接する地域と連携して「あすなろさがしてネット」をつなげます。 |
| つとめる | 情報 | <ul style="list-style-type: none"> • 誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち | <ul style="list-style-type: none"> • ケアプラザの講座やイベントなどを利用し、地域に今以上に情報が届くよう、しくみづくりをします。 • 各委員の行事や情報がより一層届くよう工夫して取り組みます。 |
| | 早期発見 | | <ul style="list-style-type: none"> • 推進委員会で検討します。 • 「あすなろさがしてネット」のしくみをより多くの地域の人に知ってもらうためのチラシやポスターを作成し、徘徊している人への声かけや早期発見ができるようにします。また、「あすなろさがしてネット」の情報メール配信のしくみを周知し、より多くの人にすばやく情報が行きわたるようにします。 |

「徘徊かな？」と思ったらご連絡ください。

あすなろさがしてネット

～徘徊高齢者連絡所～

新吉田あすなろ地区社会福祉協議会

新吉田地域ケアプラザ 592-2151

※8:45～17:00以外の時間帯は、警察署へ連絡してください。

港北警察署 546-0110

あすなろさがしてネット
連絡拠点ステッカー



あすなろさがしてネット
模擬訓練の様子

5 ふり返りの仕方

推進委員会を定期的開催して「わたしたちのまちの取り組み」の達成状況を1年ごとにふり返るとともに、新たな取り組みなどを検討し、目標とする地域の姿を実現していきます。

6 最後に

これからも皆さんの協力や支援を得ながら、この計画をもとに、新吉田あすなろ地区の福祉保健のまちづくりをすすめていきます。

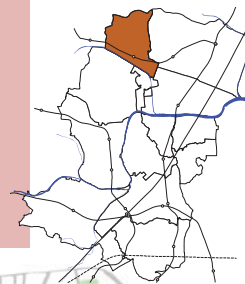
<推進委員会のメンバー>

新吉田あすなろ連合町内会、新吉田あすなろ地区社会福祉協議会
新吉田あすなろ地区民生委員・児童委員協議会



高田地区キャラクター
「たかたん」

みんなが笑顔、 助け合いのまち高田



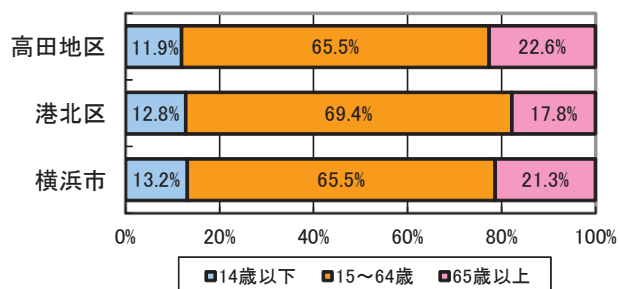
1 高田地区の人口

世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 高田地区 | 8,193 | 17,731 | 2.16 |
| 港北区 | 159,269 | 330,967 | 2.08 |
| 横浜市 | 1,698,744 | 3,704,046 | 2.18 |

*平成 25 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

2 わたしたちのまちの特色

高田地区は、港北区の北西部に位置し、南部は戸建て住宅が多く、北部は農業振興地域として、農地と戸建て住宅が混在する地区です。南部では、平成20年3月に横浜市営地下鉄「グリーンライン」が開通し、駅周辺の整備も進んでいます。

高齢化率は22%を超え（H25.3）、区内では最も高齢化が進んでいる地区です。一方、子育て世代の流入は、区の平均に比べてやや低くなっており、ここ10年間では人口の大きな増減は見られません。また、地区には8つの自治会町内会があります。

3 まちの活動・イベント紹介



たかたんが暮らす「高田地区」では、世代を問わず楽しく参加できるイベントがたくさん♪
その一部を紹介するよー。

子育て支援

- ◆ 親と子のつどいの広場
「たかたんのうち」
- ◆ たかたっ子育て
- ◆ 高田元気っこクラブ
- ◆ 移動動物園



異世代交流

- ◆ みんなの居場所「ふらっと高田」
- ◆ 高田中学校区学校・家庭・地域連携事業
「高田Fes!」
- ◆ 高田地区大運動会
- ◆ たかたの丘音楽会



障がい児・者支援

- ◆ 精神サロン「あったかだ」
- ◆ ボランティアグループ
ふくしの和・高田
ふくふくクラブ
- ◆ 余暇事業
たかたべり〜ず



高齢者支援・健康づくり

- ◆ 高田ウォーキング
- ◆ らくらくウォーキング
- ◆ 生きいきサロン



4 これから目指していく姿

各自治会町内会の特性や状況に即した災害時要援護者対策を行い、各地域ごとにステップアップしていきます。

災害時要援護者対策への取り組みを通じ、となり近所の関わり、人と人のつながりをつくります。

5 わたしたちのまちの取り組み

災害時に、要援護者が適確に避難できるような支援体制を整備するため、各自治会町内会で次の取り組みを推進します。

| キーワード | | 取 り 組 み | |
|-------|-------|---|---|
| | | 目 標 | 具 体 策 |
| ひろがる | 理解 | 災害時要援護者支援・近隣の助け合いの必要性に関する理解を広げます。 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の連絡網づくりの必要性や名簿作成の気運／雰囲気をつくります。 一般の人に防災訓練参加を促すことで、体制づくりの基盤をつくります。 |
| | 担い手 | 災害時要援護者の近くで、協力の輪を広げます。 | <ul style="list-style-type: none"> 全ての自治会町内会エリアに協力者を配置します。 |
| つながる | 知る | 災害時要援護者を把握し、支援体制をつくります。 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者を把握します。 把握している要援護者を3分類し、情報の更新を行い、自治会町内会長が把握します。 把握している要援護者をリスト化し、定期訪問等により情報を更新します。 |
| | 活動 | 自治会町内会と民生委員が連携し、災害時要援護者支援の体制をつくります。 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者名簿を自治会町内会と民生委員で共有します。 地域で独自に集めた要援護者の情報を、地域防災拠点で有効に活用できる方法を検討します。 |
| とどく | 情報 | 自治会町内会と地区社協が連携・協力し、要援護者支援の取り組みが地域に広く届くようにします。 | <ul style="list-style-type: none"> 高田地区社会福祉協議会の機関誌「翔」にコラムを設け、逐次取り組みを紹介していきます。 |
| | 発見 早期 | 災害時のみでなく、普段から見守りを行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者名簿をもとにし、災害時のみでなく、普段から見守りを行う体制づくりを継続して行います。 |



高田東小学校地域防災拠点訓練



住宅自治会「ハートの会」見守り活動

6 各自治会町内会の取り組み

| | 取り組み | |
|---------------------|---|--|
| | 目 標 | 具体策 |
| 親和会 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の要援護者支援の取り組みを継続し、より精度をあげて充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者を把握します。 名簿掲載への理解を深めるため、該当者宅へ訪問・説明を行います。 |
| 自治会 しらすか | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続します。 | <ul style="list-style-type: none"> 要支援者リストの情報更新を行います。 日頃の声かけ頻度を増やします。 |
| 中央町内会 | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続します。 | <ul style="list-style-type: none"> 要支援者リストの精度を上げます。 要支援者の見守り活動を行います。 |
| 高田町内会 | <ul style="list-style-type: none"> 地域防災拠点と支えあいカードの情報を共有することを検討していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域防災拠点の支えあいカードの情報を有効に活用し、支援体制の充実を図ります。 年2回の見守り活動を行います。 |
| 東町会 | <ul style="list-style-type: none"> 理事会、各グループ会の協力を得て、要援護者の方の見守りを行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 町会役員と民生委員が、各委員に対して、注意を持って見守るよう再確認します。 |
| 住宅親交会 | <ul style="list-style-type: none"> 前年度のやり方を踏まえながら、リストに個別の情報も加えるようにしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 民生委員のデータから要援護者名簿を充実していきます。 以前、短期間に活動していた組織を再開していきます。 |
| 西原自治会 | <ul style="list-style-type: none"> 名簿づくりを行います。 充実した支援体制づくりをします。 | <ul style="list-style-type: none"> 上期中に名簿づくりを行います。 支援体制について、会員の理解と協力を得て、組織づくりを行います。 いずれの取組も、区役所との連携を密にしていきます。 |
| 住宅自治会 | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援の取り組みを継続します。 町会と民生委員との連携を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> いっとき避難場所への誘導訓練を継続実施します。 ハートの会委員主導で、声かけの継続実施をします。 |

7 「みんなが笑顔、助け合いのまち高田」計画推進委員会

委員長： 内山 幹雄

副委員長： 宮田 光明

推進委員： 高田町連合町内会、高田地区社会福祉協議会、高田地区民生委員児童委員協議会